

2023(令和5)年度
選 抜 要 項



2023

令和 5 年度
入学者選抜要項

徳島大学
受験生サイト

- 入試案内
- オープンキャンパス案内
- 試験実施状況
- その他、各種入試情報を時期に応じてお知らせしています。

ホームページ <https://www.tokushima-u.ac.jp>



問い合わせ先

受付時間：
月～金曜（祝日を除く。）
8:30～17:00

〒770-8501 徳島市新蔵町 2 丁目 24 番地

徳島大学入試課

Tel 088-656-7091 E-mail nyuinfo@tokushima-u.ac.jp

■ 学部・学科等に関する事項

教養教育（学務部教育支援課）	Tel 088-656-7308
総合科学部	Tel 088-656-7108
医学部	
医学科・医科栄養学科	Tel 088-633-7028・7029
保健学科	Tel 088-633-9009
歯学部	Tel 088-633-7310
薬学部	Tel 088-633-7247
理工学部	Tel 088-656-7315・7317
生物資源産業学部	Tel 088-656-8021

Tokushima University

※注意

新型コロナウイルス感染症等の感染状況によっては、
日程、選抜方法等が変更になる場合があります。
入学者選抜に関する最新情報は、本学ホームページを
確認してください。

総合科学部

医学部

歯学部

薬学部

理工学部

生物資源産業学部

- ・「入学者選抜要項」は、本学が実施する選抜の基本的な内容を記載しています。
各選抜の詳細な内容については、必ず各選抜の「学生募集要項」で確認してください。
なお、学生募集要項は、本学ホームページ上でのみ公表します。
- ・本学は、全選抜においてインターネット出願となっています。

本学ホームページ（<https://www.tokushima-u.ac.jp>）



令和 4 年 7 月
徳 島 大 学

徳島大学 令和5年度入学者選抜実施日程

【大学入学共通テストを課す選抜】 (大学入学共通テスト 1/14・15 追試験 1/28・29)

区分	実施学部等	出願受付期間	第1段階選抜 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
一般選抜	全学部	令和5年1月23日(月) ～2月3日(金)	令和5年2月14日(火) 医学部医学科, 歯学部歯学科, 薬学部	令和5年2月25日(土) 医学部医学科・医科栄養学科, 歯学部歯学科, 薬学部, 生物資源産業学部は 2月25日(土)・26日(日)	令和5年3月7日(火) 14時	令和5年3月8日(水) ～3月15日(水)
	全学部 ※医学部医学科・医科栄養学科・ 保健学科検査技術科学専攻, 理工 学部(夜間主)を除く。		令和5年2月28日(火) 歯学部歯学科, 薬学部	令和5年3月12日(日)	令和5年3月22日(水) 14時	令和5年3月23日(木) ～3月26日(日)

※一般選抜追試験の詳細については、大学ホームページで公表します。

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考	第2次選考	合格者発表日	入学手続期間
総合型選抜	医学部医学科	令和4年10月21日(金) ～10月28日(金)	令和4年11月18日(金)	令和4年11月26日(土)	令和5年2月14日(火) 16時	令和5年2月15日(水) ～2月20日(月)
学校推薦型 選抜II	全学部 ※理工学部(夜間主)を除く。	令和5年1月17日(火) ～1月20日(金)	令和5年2月7日(火) ※医学部保健学科を除く。	令和5年2月11日(土)		

【大学入学共通テストを課さない選抜】

区分	実施学部等	出願受付期間	第1次選考 (実施する場合)	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
学校推薦型 選抜I	総合科学部	令和4年11月1日(火) ～11月8日(火)	令和4年11月18日(金) 理工学部(昼間)(次世代光フロン ティア入試), 生物資源産業学部	令和4年11月26日(土)	令和4年12月9日(金) 16時	令和5年2月15日(水) ～2月20日(月)
	医学部医科栄養学科			令和4年11月24日(木)・ 25日(金)		
帰国生徒選抜	理工学部(昼間), 理工学部 (夜間主), 生物資源産業学部		令和4年11月25日(金)			
	総合科学部		令和4年11月26日(土)			
社会人選抜	歯学部歯学科, 理工学部(昼間)	令和4年11月25日(金)				
	総合科学部	令和4年11月26日(土)				
	医学部保健学科看護学専攻, 理工学部(夜間主)	令和4年11月25日(金)				

区分	実施学部等	出願受付期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期間
私費外国人 留学生選抜	総合科学部, 生物資源産業学部	令和4年12月5日(月) ～12月22日(木)	令和5年2月11日(土)	令和5年3月7日(火) 14時	令和5年3月8日(水) ～3月15日(水)
	医学部医学科・保健学科, 薬学部		令和5年2月25日(土)		
	歯学部歯学科		令和5年2月25日(土)・26日(日)		
	理工学部(昼間)		令和5年2月17日(金)		

理念・目標

<理念>

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。

<目標>

- 【教 育】**
1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。
 2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。
- 【研 究】**
1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。
 2. 人類の問題を解決する研究を行う。
 3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。
- 【社会貢献】**
1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。
 2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

目 次

共 通 事 項	1	2 選抜方法	67
1 入学者選抜の概要	1	私費外国人留学生選抜	69
2 募集人員	1	1 募集人員	69
3 各選抜の実施方法	2	2 出願資格	69
4 障がいのある入学志願者との事前相談	4	3 選抜方法	72
5 入試過去問題の使用	4	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	75
6 大規模自然災害により被災した 入学志願者の検定料免除	4		
7 検定料の返還	5		
8 学生募集要項等の入手・請求方法	5		
一 般 選 抜	6		
1 募集人員	6		
2 出願資格	6		
3 選抜方法	7		
綜 合 型 選 抜	27		
1 募集人員	27		
2 出願要件及び選抜方法等	27		
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅰ	31		
1 募集人員及び推薦人員	31		
2 推薦要件及び選抜方法等	32		
学 校 推 薦 型 選 抜 Ⅱ	43		
1 募集人員及び推薦人員	43		
2 推薦要件及び選抜方法等	44		
帰 国 生 徒 選 抜	65		
1 募集人員及び出願資格	65		
2 選抜方法	65		
社 会 人 選 抜	67		
1 募集人員及び出願資格	67		

受入方針

共通事項

一般選抜

総合型

推薦Ⅰ

推薦Ⅱ

帰国生徒

社会人

私費外国人

その他

個人情報の取扱い

- 出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務を行う目的をもって、本学が管理します。
また、同情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金、就職支援等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。
- 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析、入学者選抜方法の調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）及び学生支援関係業務（授業料免除、奨学金等）のために利用します。
- 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。

教科・科目名の略称について

大学入学共通テスト及び本学が実施する個別学力検査の出題教科・科目名及び出願資格の履修教科・科目名は、略称を用いる箇所では次のように表記します。

教科名	科目名
国語→国	国語→国
地理歴史→地歴	「世界史A」→「世A」「世界史B」→「世B」「世界史」→「世」 「日本史A」→「日A」「日本史B」→「日B」「日本史」→「日」 「地理A」→「地理A」「地理B」→「地理B」
公民→公民	「現代社会」→「現社」「倫理」→「倫」「政治・経済」→「政経」 「倫理、政治・経済」→「倫・政経」
数学→数	「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」 「簿記・会計」→「簿」「情報関係基礎」→「情報」「工業数理基礎」→「工」
理科→理	「物理基礎」→「物基」「化学基礎」→「化基」 「生物基礎」→「生基」「地学基礎」→「地学基」 「物理」→「物」「化学」→「化」「生物」→「生」「地学」→「地学」
外国語→外	「英語」→「英」「ドイツ語」→「独」「フランス語」→「仏」 「中国語」→「中」「韓国語」→「韓」
総合問題→総合	総合問題→総合

共 通 事 項

1 入学者選抜の概要

本学では、令和5年度入学者選抜として一般選抜を実施するほか、特別選抜及び私費外国人留学生選抜を行います。特別選抜として、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生徒選抜及び社会人選抜を行います。学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ（推薦Ⅰ）及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜Ⅱ（推薦Ⅱ）を実施します。

2 募集人員

（単位：人）

学部・学科	入学定員	募 集 人 員									
		一 般 選 抜		特 別 選 抜				私費外国人留学生選抜			
		前 期 日 程	後 期 日 程	総合型	学校推薦型		帰国生徒		社会人		
			推薦Ⅰ	推薦Ⅱ							
総合科学部	社会総合科学科	170	85	20		20	45	若干	若干	若干	
医学部	医 学 科※	100	55		8		37			若干	
	医 科 学 養 学 科	50	25			12	13				
	保健学科	看護学専攻	70	40	10			20		若干	若干
		放射線技術科	37	21	8			8			若干
		理学専攻	17	12				5			若干
	学部計	274	153	18	8	12	83				
歯学部	歯 学 科	40	24	6			10	若干		若干	
	口腔保健学科	15	6	4			5				
	学部計	55	30	10			15				
薬学部	薬 学 科	80	50	20			10			若干	
理工学部	昼 間	理 工 学 科	550	300	92		15	143			
		数理学コース	(30)	(19)	(5)			(6)	若干		若干
		自然科学コース	(34)	(20)	(5)			(9)	若干		若干
		社会基盤デザインコース	(79)	(41)	(12)		(2)	(24)	若干		若干
		機械科学コース	(108)	(59)	(22)		(2)	(25)	若干		若干
	応用化学システムコース	(78)	(37)	(15)		(2)	(24)	若干		若干	
	電気電子システムコース	(98)	(61)	(13)		(2)	(22)	若干		若干	
	知能情報コース	(74)	(40)	(10)		(1)	(23)	若干		若干	
	光システムコース	(49)	(23)	(10)		(6)	(10)	若干		若干	
	夜 間 主	理 工 学 科	45	45							
社会基盤デザインコース		(10)	(10)				若干			若干	
機械科学コース		(10)	(10)				若干			若干	
応用化学システムコース		(5)	(5)				若干			若干	
電気電子システムコース		(10)	(10)				若干			若干	
知能情報コース	(10)	(10)				若干			若干		
生物資源産業学部	生物資源産業学科	100	48	22		8	22			若干	
合 計		1,274	711	182	8	55	318				

- （注）1 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。
2 学校推薦型選抜（推薦Ⅰ）、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干人」は、募集する学科・専攻の前期日程の募集人員に含まれます。
3 理工学部理工学科の募集人員の各コースの内訳（（ ）内の数）は、各コースのおおよそその人数です。
※医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

共通事項

3 各選抜の実施方法

(1) 一般選抜

学部・学科名	選抜方法等	前 期 日 程			後 期 日 程							備考 欠員の補充方法等	
		募集人員	個別学力検査を課す	面接を行う	志望理由書を課す	2段階選抜 ①得点率 ②倍率	募集人員	個別学力検査を課す	面接を行う	集団討論を行う	小論文を課す		志望理由書を課す
総合科学部	社会総合科学科	85人	○	-	-	20人	-	-	-	○	-	-	
医学部	医 学 科※	55人	○	○	-								
	医科栄養学科	25人	○	○	-								
	看護学専攻	40人	○	○	-	10人	-	○	○	○	-	-	
	放射線技術科学専攻	21人	○	○	-	8人	-	○	-	○	-	-	
歯学部	歯 学 科	24人	○	○	-	②10倍 ^(注2)	6人	-	○	-	○	-	②15倍 ^(注2)
	口腔保健学科	6人	○	○	-	4人	-	○	-	-	-	-	
薬学部	薬 学 科	50人	○	○	-	②5倍 ^(注3)	20人	○	○	-	-	○	①750点満点中500点以上 ②10倍 ^(注4)
理工学部※	理工学科	300人	○	-	-	92人	○	-	-	-	-	○	
	数理科学コース (19人)	(5人)											
	自然科学コース (20人)	(5人)											
	社会基盤デザインコース (41人)	(12人)											
	機械科学コース (59人)	(22人)											
	応用化学システムコース (37人)	(15人)											
	電気電子システムコース (61人)	(13人)											
	知能情報コース (40人)	(10人)											
	光システムコース (23人)	(10人)											
	理工学科	45人											
社会基盤デザインコース (10人)													
機械科学コース (10人)													
応用化学システムコース (5人)													
電気電子システムコース (10人)													
知能情報コース (10人)													
生物資源産業学部	生物資源産業学科	48人	○	○	-	22人	○	-	-	-	-		

追加合格、場合により欠員補充第2次募集

- (注1) 医学部医学科(前期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点(配点合計900点満点)に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても入学志願者数が募集人員の上記に定める倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。
- (注2) 歯学部歯学科の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、上記に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。
- (注3) 薬学部(前期日程)の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、上記に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。
- (注4) 薬学部(後期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学部の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点)に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、500点に達していても入学志願者数が募集人員の上記に定める倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。
- ※理工学部理工学科の募集人員の各コースの内訳(()内の数)は各コースのおおよその人数です(3ページの表も同じ)。
※医学部医学科の定員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

(2) 特別選抜、私費外国人留学生選抜

学部・学科名	選抜方法等	学 校 推 薦 型 選 抜							帰国生徒	社会人	私費外国人留学生						
		推 薦 I			推 薦 II												
募集人員	面接を行う	総合討論を行う	募集人員	面接を行う	集団討論を行う	小論文を課す	募集人員	面接を行う	集団討論を行う	小論文を課す	募集人員						
総合科学部	社会総合科学科				20人 活 動 実 績 重 視 型 15人	英語能力 重視型 5人	○	-	○	45人 5(6)教科型 30人	3教科型 15人	○	-	-	若干人	若干人	若干人
医学部	医 学 科※	8人	○	○							37人 一般枠 20人	地域枠 17人	○	○	-		若干人
	医科栄養学科				12人 ^(注1)	○	○	-			13人		○	-	-		若干人
	看護学専攻										20人		○	○	-		若干人
	放射線技術科学専攻										8人		○	-	-		若干人
歯学部	歯 学 科										5人		○	-	-		若干人
	口腔保健学科										10人		○	○	-		若干人
薬学部	薬 学 科										10人 ※1 ※2 5人 5人		○	-	○		若干人
理工学部	理工学科				15人						143人 (6人)						若干人
	数理科学コース				-						(9人)						
	自然科学コース				-						(24人)						
	社会基盤デザインコース				(2人)						(25人)						
	機械科学コース				(2人)	○	-	-			(24人)		○	-	-		若干人
	応用化学システムコース				(2人)						(22人)						
	電気電子システムコース				(2人)						(23人)						
知能情報コース				(1人)						(10人)							
生物資源産業学部	理工学科				若干人						8人 ^(注2)						若干人
	社会基盤デザインコース				若干人						※3 ※4 ※5 2人 4人 2人		○	-	○		若干人
	機械科学コース				若干人												
	応用化学システムコース				若干人												
	電気電子システムコース				若干人												

- (注1) 医学部医科栄養学科学校推薦型選抜Iでは「基礎学力審査」を課します。
(注2) 生物資源産業学部学校推薦型選抜Iの実施に当たっては、入学志願者数の状況によっては、第1次選考を実施することがあります。
※1 創薬研究者育成型(長井枠)
※2 先導的地域医療薬劑師育成型(地方貢献枠)
※3 専門高校・総合学科全開枠
※4 専門高校・総合学科地域枠
※5 地域産業振興枠
※6 次世代光フロンティア入試
※医学部医学科の定員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

共通事項

4 障がいのある入学志願者との事前相談

受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、次のとおり入試課に申し出てください。
申請後、入試課から回答文書を送付しますので、出願する際は写しを出願書類と併せて提出してください。

(1) 時期

相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

選 抜 区 分	時 期
一般選抜	令和5年1月16日(月)まで
総合型選抜	令和4年10月14日(金)まで
学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)	令和4年10月25日(火)まで
学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す)	令和5年1月10日(火)まで
帰国生徒選抜	令和4年10月25日(火)まで
社会人選抜	令和4年10月25日(火)まで
私費外国人留学生選抜	令和4年11月28日(月)まで

(2) 方法

詳細は、本学ホームページをご覧ください。「徳島大学入学試験における事前相談内容」を出力し、①～⑧の内容を記載の上、提出してください。

- ① 氏名、生年月日
- ② 選抜区分・志望学部・学科・専攻・コース
- ③ 現住所・電話番号及び保護者の連絡先
- ④ 障がいの種類・程度(後日、健康診断書の提出を依頼する場合があります。)
- ⑤ 受験の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑥ 修学の際に配慮を希望する事項及び内容
- ⑦ 出身学校等で在学中にとられている配慮及び出身学校等名
- ⑧ 日常生活の状況等

5 入試過去問題の使用

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出願することがあります。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.nyushikakomon.jp/>

6 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除

本学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、令和5年度学部入学者選抜において、以下のとおり検定料免除の特例措置を講じます。

(1) 免除対象となる入学者選抜

令和5年度学部入学者選抜(一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜・帰国生徒選抜・社会人選抜)

(2) 措置内容

検定料(17,000円 夜間主10,000円)の免除

(3) 免除対象者

- ① 東日本大震災及び令和4年度に災害救助法適用地域において被災された志願者で、次のいずれかに該当する者
 - ア 主たる学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失の被害を受けた場合
 - イ 主たる学資負担者が死亡又は行方不明の場合
- ② 居住地が、福島第一原子力発電所の事故により、警戒区域又は計画的避難区域に指定された者

(4) その他

申請方法、申請書類等、詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

7 検定料の返還

納入された検定料は、原則返還しません。

ただし、次のいずれかに該当する場合は検定料の全額又はその一部を返還します。

- ① 出願書類が受理されなかった場合
- ② 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合
- ③ 検定料を二重に払い込んだ場合
- ④ 第一段階目の選抜の結果、不合格となった場合
- ⑤ 出願受付後に本学の出願無資格者であることが判明した場合
- ⑥ 試験当日に「新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成24年法律第31号)」第2条第1号に規定する「新型インフルエンザ等」を発症した疑いがあるため、本学が受験を拒否した場合
 - ①～③に該当する場合は全額を、④～⑥に該当する場合はその一部(総合科学部、医学部、歯学部、薬学部、理工学部(昼間)、生物資源産業学部は13,000円、理工学部(夜間主)は7,800円)を返還します。
 - ①の該当者については、出願書類を返送する際に併せて通知します。②～⑥の該当者は、申請方法、申請書類等について本学ホームページをご覧ください。できるだけ令和5年3月31日(金)までに申し出てください。
 - ただし、検定料返還の手続には、返還請求書到着後2か月程度かかる場合があります。

8 学生募集要項等の入手・請求方法

(1) 令和5年度学生募集要項について

各選抜の学生募集要項は、本学ホームページ上にPDF版を掲載することで公表します。それぞれの選抜について、入学者選抜要項より詳細な内容となりますので、出願される場合は必ずご確認ください。

また、本学ホームページにはそれぞれの選抜への出願の際に必要な様式(推薦書等)も掲載しますので、印刷して使用してください。

選抜区分	公表予定時期
一般選抜	令和4年11月下旬
総合型選抜	令和4年9月下旬
学校推薦型選抜Ⅰ	
学校推薦型選抜Ⅱ	令和4年11月下旬
帰国生徒選抜	令和4年9月下旬
社会人選抜	
私費外国人留学生選抜	令和4年9月下旬

(2) 大学案内の請求方法

本学のホームページからテレメールを利用して大学案内の資料請求ができます。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

一 般 選 抜

1 募 集 人 員

学 部	学 科 等	募 集 人 員		
		前 期 日 程	後 期 日 程	
総 合 学 部	社 会 総 合 学 科	85人	20人	
医 学 部	医 学 科※	55人		
	医 科 栄 養 学 科	25人		
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	40人	10人
		放 射 線 技 術 学 専 攻	21人	8人
		検 査 技 術 学 専 攻	12人	
学 部 計	153人	18人		
歯 学 部	歯 学 科	24人	6人	
	口 腔 保 健 学 科	6人	4人	
	学 部 計	30人	10人	
薬 学 部	薬 学 科	50人	20人	
理 工 学 部	昼 間	理 工 学 科	300人	92人
		数 理 学 科 コ ー ス	(19人)	(5人)
		自 然 学 科 コ ー ス	(20人)	(5人)
		社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス	(41人)	(12人)
		機 械 学 科 コ ー ス	(59人)	(22人)
		応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス	(37人)	(15人)
		電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス	(61人)	(13人)
		知 能 情 報 コ ー ス	(40人)	(10人)
		光 シ ス テ ム コ ー ス	(23人)	(10人)
		夜 間 主	理 工 学 科	45人
	社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス		(10人)	
	機 械 学 科 コ ー ス		(10人)	
	応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス		(5人)	
	電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス		(10人)	
	知 能 情 報 コ ー ス	(10人)		
生 物 資 源 産 業 学 部	生 物 資 源 産 業 学 科	48人	22人	
合 計		711人	182人	

(注) 1 総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜で補充します。
 2 学校推薦型選抜(推薦)、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜の募集人員「若干人」は、募集する学科・専攻の前期日程の募集人員に含まれます。
 3 理工学部理工学科の募集人員の各コースの内訳〔()内の数〕は、各コースのおおよその人数です。
 ※医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

2 出 願 資 格

本学に入学を志願することができる者は、次の(1)~(8)のいずれかに該当し、かつ、令和5年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験した者となります。(11ページ3(6)参照)
 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
 (2) 通常の課程による12年の学校教育若しくは通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
 (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和5年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
 (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
 (6) 文部科学大臣の指定した者
 (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者又は廃止前の大学入学資格検定期程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者
 (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達するもの

(注) (8)の出願資格認定については、本学ホームページを参照、又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。
 なお、本学が認定した出願資格は、本学に限り有効です。

3 選 抜 方 法

- (1) 選抜方式
 ① 本学の一般選抜は、分離分割方式の前期日程及び後期日程で実施します。選考にあたっては、大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して判定します。
 なお、合格者となるには、本学が実施する個別学力検査等をすべて受験する必要があります。
 ② 同選抜で本学に入学を志願する者は、令和5年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験しておく必要があります。指定した教科・科目を受験せず本学に出願した者は無資格者となりますので、本学の個別学力検査等を受験することはできません。
 なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。
 ③ 本学では、同一学部、異なる学部・学科を問わず、前期日程と後期日程に併願することができます。
 ④ 一般選抜における調査書の活用方法については、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)の各学部・学科・専攻の「●入学者選抜方法における選抜内容」に明記していますのでご確認ください。
- (2) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について
 ① 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」を含みます。
 ② 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、「第1解答科目」の成績を採用します。
 ただし、出願する学部等が指定する科目を「第1解答科目」で受験しておらず、「第2解答科目」で受験している場合は、当該利用教科を受験したものと見なしますが、成績は「0点」とします。
 ③ 理科の科目選択方法は、次のとおりです。
 大学入試センターが定めているA~Dの出題科目の選択方法に基づくものです。
 なお、実際に選択可能な方法及び科目は学部等毎で異なり、個別に指定があります。
 A：基礎を付した科目群から2科目選択
 B：基礎を付していない科目群から1科目選択
 C：基礎を付した科目群から2科目選択及び基礎を付していない科目群から1科目選択の合計3科目選択
 D：基礎を付していない科目群から2科目選択
 ④ 2科目を課す教科の配点は、合計得点を表記しており、それぞれの配点は同点とします。
 ⑤ 専門学科に関する科目について
 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を利用することとしている学科等において、当該科目を選択できる者は、高等学校(中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。)の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した(見込みを含む。)者に限ります。

(3) 個別学力検査等の内容について

① 個別学力検査における各教科・科目等の出題範囲は次のとおりです。

教科	科目	出題範囲
国語	国語	「国語総合」、「現代文A」、「現代文B」、「古典A」、「古典B」
数学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	全範囲
	数学A	全範囲
	数学B	「数列」、「ベクトル」
理科	物理基礎・物理	全範囲
	化学基礎・化学	全範囲
	生物基礎・生物	全範囲
外国語	英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」※「読むこと」、「書くこと」に関する出題を行う。
総合問題		日本語で書かれた文章や図表等により、下記の力を問う記述・論述式の出題を行います。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー、食料、農業等で抱える問題）や生物資源産業界への深い関心と、自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題

② 面接等は次のとおり実施します。なお、点数化していない面接等は、総合判定とします。

前期日程		
医学部	医学科	複数の面接担当者による集団面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。
	保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻	
	医科栄養学科	
歯学部	歯学科	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。
	口腔保健学科	
薬学部	薬学科	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。
生物資源産業界学部	生物資源産業界学科	複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類等の確認を行う場合があります。

後期日程		
医学部	保健学科 看護学専攻	【集団討論】※看護学専攻のみ 複数の評価担当者による集団討論を行います。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行います。
	放射線技術科学専攻	【個人面接】※看護学専攻、放射線技術科学専攻 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行います。提出書類などの内容を確認する場合があります。
歯学部	歯学科	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。
	口腔保健学科	
薬学部	薬学科	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。

③ 小論文は次のとおり実施します。

後期日程		
総合科学部	社会総合科学科	社会的な課題に関する基礎的な能力（関心、理解力、表現力）を判定します。
医学部	保健学科 (看護学専攻・放射線技術科学専攻)	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行います。
歯学部	歯学科	日本語及び英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行います。

④ 志望理由書は次のとおり取り扱います。

前期日程		
医学部	保健学科 検査技術科学専攻	アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価を行い、合否を判定します。

後期日程		
薬学部	薬学科	アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、合否を判定します。

⑤ 志望調書は次のとおり取り扱います。

後期日程		
理工学部	理工学科	試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望理由等に関連したテーマ・問題1題を提示し、志望調書を作成（300字以内：40分）して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。

(4) 2段階選抜について

① 実施について

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部においては、次のとおり2段階選抜を行います。

2段階選抜を実施する場合は、令和5年度大学入学共通テストにおいて各学部・学科等が指定する教科・科目(12～17ページ参照)の成績等により下記の日程で第1段階選抜を行います。

選 抜 区 分	日 程
前期日程	令和5年2月14日(火)
後期日程	令和5年2月28日(火)

1. 医学部医学科

医学部医学科(前期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が600点(配点合計900点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、600点以上に達していても入学志願者数が募集人員の5倍を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

2. 歯学部歯学科

歯学部歯学科の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、以下に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

(前期日程):10倍 (後期日程):15倍

3. 薬学部

薬学部(前期日程)の試験実施に当たっては、入学志願者数が募集人員を大幅に上回り、以下に定める倍率を超えた場合は2段階選抜を実施することがあります。

薬学部(後期日程)の試験実施に当たっては、大学入学共通テストの成績において、本学科の指定する各科目の合計点が500点(配点合計750点満点(傾斜後の配点))に達していない場合は2段階選抜を実施します。また、500点以上に達していても入学志願者数が以下に定める倍率を超えた場合は、2段階選抜を実施することがあります。

(前期日程):5倍 (後期日程):10倍

② 2段階選抜実施の有無について

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部の2段階選抜実施の有無については、前・後期日程とも令和5年2月14日(火)16時以降に、本学ホームページにより発表します。

③ 第1段階選抜結果の通知

医学部医学科、歯学部歯学科及び薬学部において2段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜の合格者には合格通知書を、不合格者には不合格通知書を、下記の日程で送付します。

選 抜 区 分	発送予定日
前期日程(医学部医学科、歯学部歯学科、薬学部)	令和5年2月14日(火)
後期日程(歯学部歯学科、薬学部)	令和5年2月28日(火)

(5) 理工学部の選抜方法等について

① 選抜方法

理工学科は、志望コース毎に入学者選抜を実施します。

【前期日程】(昼間、夜間主)

出願できる志望コースは1コースのみとなります。

【後期日程】(昼間のみ)

出願時に第1志望とするコースのほか、第2志望のコースを任意で選択できます。第2志望のコースを選択しない場合は、第1志望のコースのみで合否判定を行いますのでご注意ください。

② 合格者の決定と1年入学時におけるコース配属

【前期日程】(昼間、夜間主)

大学入学共通テストと個別学力検査等の成績により、各コースの合格者が決まります。出願したコースに合格すれば、1年入学時に当該コースへ配属します。

【後期日程】(昼間のみ)

大学入学共通テストと個別学力検査等の成績により、各コースの合格者が決まります。コース毎に第1志望者及び第2志望者(選択者のみ)を成績順に並べ、成績上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。第1志望又は第2志望(選択者のみ)のいずれかのコースに合格すれば、1年入学時に合格したコースへ配属します。

(6) 入学者選抜の実施教科・科目等

12～21ページの表について、注意事項は以下のとおりです。

〈共通事項〉

- ① 入学定員の「その他」は、特別選抜の募集人員です。
- ② 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門学校及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した(見込みを含む。)者に限ります。
- ③ 大学入学共通テストの「外国語」の「英語」の成績は、リーディング(100点満点)を200点、リスニング(100点満点)を50点に換算し、総合計250点満点を各学科等が定めている配点に換算します。ただし、リスニングを免除された受験者については、他の外国語の科目受験者と同様に筆記試験の得点のみ利用します。
- ④ ◎印を付し点数化していない面接及び志望理由書は、総合判定とします。
- ⑤ 2科目を課す教科の配点は、合計得点を表記しており、それぞれの配点は同点とします。ただし、生物資源産業学部前期日程における大学入学共通テストの理科については、「化学」必須50点、「物理」「生物」から1(100点)(科目選択方法D)とします。
- ⑥ 大学入学共通テストの理科の科目選択方法について、受験内容が科目選択方法A～Dのどれに該当するか、成績利用の条件を満たすかについては、7ページを参照してください。

〈総合科学部〉

- ① 総合科学部の配点では、パターン①～③のうち、高得点となるパターンを採用します。
- ② 総合科学部では、大学入学共通テストの理科は、科目選択方法A～Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点と基礎を付さない1科目の得点を比較し、得点の高い方を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、「第1解答科目」の得点を利用します。

〈医学部〉

- ① 医学科の合格者の最低点において、大学入学共通テスト、個別学力検査等の得点合計が同点の場合、次の順番で点数の高い者を合格とします。
〔1〕個別学力検査等の合計点 〔2〕個別学力検査等の数学の得点
- ② 医科栄養学科では、大学入学共通テストの理科は、科目選択方法A～Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点と基礎を付さない1科目の得点を比較し、得点の高い方を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、「第1解答科目」の得点を利用します。
- ③ 保健学科看護学専攻では、大学入学共通テストの理科は、科目選択方法A、C、Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点を利用します。また、各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかににかかわらず不合格とします。
- ④ 保健学科放射線技術科学専攻では、大学入学共通テストの理科は、科目選択方法C又はDが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合、3つの科目間で同一名称科目の重複は認めません。

〈歯学部〉

- ① 口腔保健学科では、大学入学共通テストの理科は、科目選択方法A、C、Dが利用対象となります。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、合計得点(200点満点)を100点満点に換算した上で利用します。
- 〈生物資源産業学部〉
- ① 一般選抜(後期)で実施する総合問題における得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかににかかわらず不合格とします。

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・程 日	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
総合科学部 170人 前期 85 後期 20 その他 65	社会総合科学科 前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1又は0 } 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基, } から1又は2 物, 化, 生, 地学 (科目選択方法A~D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科又は6教科/7科目又は8科目)	国 外	国 英	
				その他	小論文	
	後期 3月12日					
医学部 274人 前期 153 後期 18 その他 105	医学科 前期 2月25日 及び26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 外 英 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英 集団面接	○
				外 その他	英 個人面接	
	医科栄養学科 前期 2月25日 及び26日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, } から1又は2 物, 化, 生 (科目選択方法A~D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目又は7科目)			

試験の区分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備考	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	集団討論	配点合計		
大学入学 共通 テスト	パターン①	200	100		300	100	200				900	
	パターン②	200	200		100	100	300				900	
	パターン③	200	300		100	100	200				900	
個別学力検査						200					400	
計	パターン①	400	100		300	100	400				1,300	
	パターン②	400	200		100	100	500				1,300	
	パターン③	400	300		100	100	400				1,300	
大学入学共通テスト	200	200		200	100	200					900	
個別学力検査							400				400	
計	200	200		200	100	200	400				1,300	
大学入学共通テスト	150	50		200	300	200					900	
個別学力検査				200		200		◎			400	
計	150	50		400	300	400					1,300	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	100					650	
個別学力検査						200		200			400	
計	100	50		200	200	300		200			1,050	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日・程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
医学部 保健学科 看護学専攻	前期 2月25日 40人 前期後期	国	国世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	外 その他	英 集団面接	
		公民数	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1			
	理	物基, 化基, 生基, } から2 物, 化, 生				
	後期 3月12日	外	(科目選択方法A, C, D) ※『生基』または『生』は必ず選択 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	その他	個人面接, 集団討論 小論文	
保健学科 放射線技術 科学専攻	前期 2月25日 21人 前期後期	国	国世B, 日B, 地理B } から1	数理 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 集団面接	
		公民数	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 化基, 生基, } から2又は3 物, 化, 生			
	後期 3月12日	外	(科目選択方法C, D)※『物』は必ず選択 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目又は8科目)	その他	個人面接 小論文	
保健学科 検査技術 科学専攻	前期 2月25日 12人 前期	国 公民数 理 外	国世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 (科目選択方法D)※『化』は必ず選択 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 英 志望理由書	
歯学部 歯学科 その他	前期 2月25日 及び26日 30人 前期後期 その他	国	国世B, 日B, 地理B } から1	数理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物, 化基・化, } から1 生基・生 英 個人面接	○
		公民数	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1			
	理 外	物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) (5教科7科目)	その他	個人面接 小論文(日本語及び英語)		○
口腔保健学科	前期 2月25日 10人 前期後期	国	国世B, 日B, 地理B } から1	外 その他	英 個人面接	
		公民数	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, } から2 物, 化, 生			
	後期 3月12日	外	(科目選択方法A, C, D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	その他	個人面接	

試験の区分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											備考
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	集団討論	志望理由書	配点合計	
大学入学共通テスト	100	100		200	200	100					700	
個別学力検査						200	◎				200	
計	100	100		200	200	300					900	
大学入学共通テスト	20	20		40	60	60					200	
個別学力検査						100	100				200	
計	20	20		40	60	60	100	100			400	
大学入学共通テスト	100	100		200	200	200					800	
個別学力検査				200	200		◎				400	
計	100	100		400	400	200					1,200	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査						200	200				400	
計	100	50		200	200	200	200	200			1,150	
大学入学共通テスト	100	100		100	300	100					700	
個別学力検査				200		200			◎		400	
計	100	100		300	300	300					1,100	
大学入学共通テスト	100	50		100	200	100					550	
個別学力検査				200	100	200	◎				500	
計	100	50		300	300	300					1,050	
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100					450	
個別学力検査						200	◎				200	
計	100	50		100	100	200					650	
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100					450	
個別学力検査						200	◎				200	
計	100	50		100	100	300					650	
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100					450	
個別学力検査							◎					
計	100	50		100	100	100					450	

一般選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・程 度	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
薬学部 薬学科 80人 前期 後期 その他	前期 2月25日 及び26日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国世B, 日B, 地理B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 化 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 化基・化 集団面接	○
		理 外		化 その他	化基・化 集団面接, 志望理由書	○
理工学部 昼間 理工学科 数理科学 コース 30人 前期 後期 その他	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1	
		理 外		数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調書	
理工学部 昼間 理工学科 自然科学 コース 34人 前期 後期 その他	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1	
		理 外		数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調書	
理工学部 昼間 理工学科 社会基盤 デザイン コース 79人 前期 後期 その他	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1	
		理 外		数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調書	
理工学部 昼間 理工学科 機械科学 コース 108人 前期 後期 その他	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数	国世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1	
		理 外		数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調書	

試験の区分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											備 考	
	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外 国 語	小 論 文	面 接	集 団 討 論	志 望 理 由 書	志 望 調 書		配 点 合 計
大学入学共通テスト	100	50		100	100	200						550	
個別学力検査				200	200		◎					400	
計	100	50		300	300	200						950	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200						750	
個別学力検査					400		◎		◎			400	
計	100	50		200	600	200						1,150	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200						750	
個別学力検査					300	200						500	
計	100	50		500	400	200						1,250	
大学入学共通テスト	100	50		150	200	150						650	
個別学力検査					350						25	375	
計	100	50		500	200	150					25	1,025	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200						750	
個別学力検査					300	200						500	
計	100	50		500	400	200						1,250	
大学入学共通テスト	100	50		150	200	150						650	
個別学力検査					350						25	375	
計	100	50		500	200	150					25	1,025	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200						750	
個別学力検査					300	200						500	
計	100	50		500	400	200						1,250	
大学入学共通テスト	100	50		150	200	150						650	
個別学力検査					350						25	375	
計	100	50		500	200	150					25	1,025	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・程 日	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
理工学部 昼間 78人 前期 37 後期 15 その他 26	理工学科 応用化学 システム コース	前期	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 }から1	
		後期	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調査	
理工学部 昼間 98人 前期 61 後期 13 その他 24	理工学科 電気電子 システム コース	前期	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 }から1	
		後期	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調査	
理工学部 昼間 74人 前期 40 後期 10 その他 24	理工学科 知能情報 コース	前期	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 }から1	
		後期	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調査	
理工学部 昼間 49人 前期 23 後期 10 その他 16	理工学科 光システム コース	前期	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 }から1	
		後期	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調査	
理工学部 夜間主 10人 前期 10 その他 若干	理工学科 社会基盤 デザイン コース	前期	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 }から1	
		後期	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調査	
理工学部 夜間主 10人 前期 10 その他 若干	理工学科 機械科学 コース	前期	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 (科目選択方法D)	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 }から1	
		後期	理 外 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科7科目)	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 志望調査	

試験の区分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										備 考	
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	集団討論	志望調査		配点合計
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				300	200						500	
計	100	50		500	400	200					1,250	
大学入学共通テスト	100	50		150	200	150					650	
個別学力検査				350						25	375	
計	100	50		500	200	150				25	1,025	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				300	200						500	
計	100	50		500	400	200					1,250	
大学入学共通テスト	100	50		150	200	150					650	
個別学力検査				350						25	375	
計	100	50		500	200	150				25	1,025	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				300	200						500	
計	100	50		500	400	200					1,250	
大学入学共通テスト	100	50		150	200	150					650	
個別学力検査				350						25	375	
計	100	50		500	200	150				25	1,025	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				200	100						300	
計	100	50		400	300	200					1,050	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				200	100						300	
計	100	50		400	300	200					1,050	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・程 日	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜
理工学部 夜間主 5人 前期 5 その他 若干	理工学科 応用化学 システム コース	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) (5教科7科目)	数 理 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1		
理工学部 夜間主 10人 前期 10 その他 若干	理工学科 電気電子 システム コース	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) (5教科7科目)	数 理 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1		
理工学部 夜間主 10人 前期 10 その他 若干	理工学科 知能情報 コース	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (科目選択方法D) (5教科7科目)	数 理 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物 化基・化 } から1		
生物資源 産業学部 100人 前期 48 後期 22 その他 30	生物資源 産業学科	前期 2月25日 及び26日	国 地歴 公民 数 理 外 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物, 化, 生から2 (科目選択方法D) ※「化」は必ず選択 英 (5教科7科目)	化 その他 化基, 化 集団面接		
		後期 3月12日		総合 総合 (化学基礎, 化学を含む)		

試験の区分	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											備 考
	国 語	地 歴	公 民	数 学	理 科	外 国 語	小 論 文	総 合 問 題	面 接	集 団 討 論	配 点 合 計	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				200	100						300	
計	100	50		400	300	200					1,050	
大学入学共通テスト	100	50		200	200	200					750	
個別学力検査				200	100						300	
計	100	50		400	300	200					1,050	
大学入学共通テスト	100	50		150	150	200					650	
個別学力検査					200			150			350	
計	100	50		150	350	200		150			1,000	
大学入学共通テスト	50	50		200	200	200					700	
個別学力検査								300			300	
計	50	50		200	200	200		300			1,000	

(7) 令和5年度大学入学共通テスト利用教科・科目確認表

学部・学科等	共通テスト利用教科										科目確認			
	国語	地理	歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	英語	ドイツ語	中国語	韓国語	
総合科学部 社会総合科学科	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医学部 医学科	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医学部 医科栄養学科	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医学部 保健学科	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
医学部 放射線技術科学専攻	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 1 ① ◎印は必ず受験しなければならない科目、○印は選択科目を示します。
 ② □囲みの数字は成績利用科目数を示します。
 2 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者に限ります。

学部・学科等	共通テスト利用教科										科目確認			
	国語	地理	歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	英語	ドイツ語	中国語	韓国語	
医学部 保健学科 検査技術専攻	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
歯学部 歯学科	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
歯学部 口腔保健学科	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
薬学部 薬学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
理工学部 理工学全門一共通	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
理工学部 理工学全門一共通	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
生物資源産業学部 生物資源産業学科	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 1 ① ◎印は必ず受験しなければならない科目、○印は選択科目を示します。
 ② □囲みの数字は成績利用科目数を示します。
 2 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者に限ります。

(e) 試験実施日時及び場所

① 前期日程 令和5年2月25日(土)・令和5年2月26日(日)

学部・学科等	教科等	2月25日(土)					2月26日(日)	場 所
		数 学	国 語	外 国 語 (英 語)	理 科	面 接	面 接	
総合科学部	社会総合科学科		9:30~11:00	13:00~14:10				総合科学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 1丁目1番地
			国	英				
医学部	医 学 科	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B		13:00~14:10			9:30~ 複数の面接担当者 による集団面接	医学部 (蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町 3丁目18番地の15
	医科栄養学科			13:00~14:10			9:30~ 複数の面接担当者 による個人面接	
保健学部	看護学専攻			13:00~14:10		15:00~ 複数の面接担当者 による集団面接		医学部 (蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町 3丁目18番地の15
	放射線技術 科学専攻	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B			13:50~15:20	15:50~ 複数の面接担当者 による集団面接		
	検査技術 科学専攻	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B		13:00~14:10				
歯学部	歯 学 科	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B		13:00~14:10	15:00~16:30		9:30~ 複数の面接担当者 による個人面接	歯学部 (蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町 3丁目18番地の15
	口腔保健学科			13:00~14:10		15:00~ 複数の面接担当者 による個人面接		
薬学部	薬 学 科	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B			13:50~15:20		9:30~ 複数の面接担当者 による集団面接	総合科学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 1丁目1番地
理工学部	理 工 学 科	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B			13:50~15:20			理工学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 2丁目1番地
理工学部	理 工 学 科	9:30~11:30 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B			13:50~15:20			理工学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 2丁目1番地
生物資源学部	生 物 資 源 産 業 学 科				13:50~15:20		9:00~ 複数の面接担当者 による集団面接	総合科学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 1丁目1番地

- (注) 1 試験開始30分前までに試験室へ入室し、着席してください。
 2 試験開始後20分以上経過した遅刻者は、受験できません。
 なお、面接では各学部が指定する集合時間に遅れた場合は、受験できないことがあります。
 3 1科目を受験しなかった者は、2科目以降も受験できません。
 4 試験開始から終了まで退室は認めません。ただし、試験中の発病・用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
 5 歯学部及び理工学部で出願時に選択した「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。
 6 入学志願者が多数となった場合は、上記以外の施設を試験場とすることがあります。
 7 薬学部は、前期日程のみ常三島キャンパスで入学試験を行いますので、注意してください。

② 後期日程 令和5年3月12日(日)

学部・学科等	教科等	数 学	理 科	小 論 文	総合問題	志望調書	面 接 等	場 所
		総合科学部			10:00~12:00			
	社会総合科学科			社会的な課題に関する論文				
医学部	保健学専攻			10:00~11:00			12:30~ 複数の評価担当者 による集団討 論及び複数の面 接担当者による 個人面接	医学部 (蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町 3丁目18番地の15
	放射線技術 科学専攻			基礎学力に基づいた論理性、思考・創造力等を判定			12:30~ 複数の面接担当者 による個人面接	
歯学部	歯 学 科			9:30~11:30			13:00~ 複数の面接担当者 による個人面接	歯学部 (蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町 3丁目18番地の15
	口腔保健学科			和文及び英文の問題に論述又は他の形式で解答			9:30~ 複数の面接担当者 による個人面接	
薬学部	薬 学 科		9:00~11:00				12:30~ 複数の面接担当者 による集団面接	薬学部 (蔵本キャンパス) 徳島市庄町 1丁目78-1
理工学部	理 工 学 科	9:00~10:30				11:20~12:00		理工学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 2丁目1番地
生物資源学部	生物資源産業学科	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲ・数A・ 数B				志望理由等に関連したテーマについて作成		理工学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 2丁目1番地
					10:00~11:30			総合科学部 (常三島キャンパス) 徳島市南常三島町 1丁目1番地
					総合			

- (注) 1 試験開始30分前までに試験室へ入室し、着席してください。
 2 試験開始後20分以上経過した遅刻者は、受験できません。
 なお、面接では各学部が指定する集合時間に遅れた場合は、受験できないことがあります。
 3 試験開始から終了まで退室は認めません。ただし、試験中の発病・用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
 4 入学志願者が多数となった場合は、上記以外の施設を試験場とすることがあります。

総合型選抜

1 募集人員

学部名	学科名	総合型選抜の呼称	募集人員
医学部	医学科	四国研究医型	8人

(注) 合格者が募集人員に満たなかった場合は、不足人員を一般選抜前期日程で補充します。

2 出願要件及び選抜方法等

(1) 同入試で本学に入学を志願する者は、令和5年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験する必要があります。指定した教科・科目を受験しなかった者は、無資格者となります。
なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(2) 第1次選考について

令和4年11月18日(金)に第1次選考を実施します。

第1次選考の結果を同日付で本人に文書により発送します。令和4年11月22日(火)までに到着しない場合は、必ず入試課に電話照会してください。

また、同日16時以降に本学ホームページにも通過者受験番号を掲載します。

(3) 第2次選考について

第1次選考を通過した者に対して、下記試験場で面接等を行います。集合時間等の詳細については、第1次選考結果通知を送付する際に、併せて通知します。

第2次選考の通過結果については、令和4年12月9日(金)付けで本人に通知します。また、同日16時以降に本学ホームページにも通過者受験番号を掲載します。

なお、最終合格については、大学入学共通テストの成績を総合して判定します。

学部名	日 時			場 所
医学部	令和4年11月26日(土)	総合討論, 個人面接	9:00~	医学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

(注) 試験開始30分前までに入室してください。

(4) 出願要件及び選抜方法等

学部・学科名	医 学 部	
	医 学 科	
募集人員	8人(各県受入人員の目安=徳島県2人, 香川県2人, 愛媛県2人, 高知県2人)	
出 願 要 件	<p>次の要件をすべて満たしている者で、合格した場合は入学を確約できる者とする。</p> <p>(1) 次にあげる地域の高等学校^(注1)を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業又は卒業見込みであり、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学科が指定した全教科・科目を受験する者【徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県】</p> <p>(2) 大学入学後、直ちに下記を確約できる者 ・徳島大学大学院医学研究科において大学院進学(MD・PhDコース又は卒業後3年以内に4年間の博士課程) ・徳島大学病院又は徳島大学病院が指定する主要基幹病院において2年間の初期臨床研修</p> <p>(3) アドミッション・ポリシーを深く理解し、合致していることを明確に示すことができる者</p> <p>(4) 高等学校における調査書全体の学習成績の状況が3年次1学期あるいは前期終了時点で4.3以上の者</p>	

学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)

1 募集人員及び推薦人員

学部名	学科・コース名	募集人員	各高等学校から推薦できる人員	
総合科学部	社会総合科学科	15人(活動実績重視型)	1校当たり2人	
		5人(英語能力重視型)	特に制限を設けない	
医学部	医科栄養学科	12人	1校当たり2人	
理工学部	昼間	理工学科	15人	
		社会基盤デザインコース	(2人)	1校当たり2人
		機械科学コース	(2人)	1校当たり2人
		応用化学システムコース	(2人)	1校当たり2人
		電気電子システムコース	(2人)	1校当たり2人
		知能情報コース	(1人)	1校当たり1人
		光システムコース	(1人)	1校当たり1人
	夜間主	理工学科	(5人)(次世代光フロンティア入試)	1校当たり1人
		社会基盤デザインコース	若干人	特に制限を設けない
		機械科学コース	若干人	
		応用化学システムコース	若干人	
		電気電子システムコース	若干人	
知能情報コース	若干人			
生物資源産業学部	生物資源産業学科	2人(専門高校・総合学科全国枠)	1校当たり2人	
		4人(専門高校・総合学科地域枠)	1校当たり2人	
		2人(地域産業振興枠)	1校当たり1人	

- (注) 1 学校推薦型選抜において記載されている「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。
- 2 合格者が募集人員に満たない場合は、不足人員を一般選抜前期日程で補充します。
- 3 理工学部理工学科夜間主の募集人員「若干人」は、前期日程の募集人員に含まれます。
- 4 理工学部理工学科の募集人員の各コースの内訳〔()内の数〕は、各コースのおおよその人数です。
- 5 統廃合された高等学校等から推薦できる人数については、経過措置を設けていますので、本学ホームページで確認してください。

2 推薦要件及び選抜方法等

(1) 第1次選考について

理工学部（昼間）（次世代光フロンティア入試）及び生物資源産業学部については、入学志願者数の状況によっては、出願書類の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考を行います。

第1次選考を実施する場合は、令和4年11月18日（金）に行います。

なお、第1次選考実施の有無については、令和4年11月14日（月）16時以降に、本学ホームページにより発表します。

また、第1次選考を行う場合のみ、第1次選考の結果を同日付けで本人及び推薦高等学校の長に通知します。令和4年11月22日（火）までに到着しない場合は、必ず入試課に電話照会してください。

また、同日16時以降に本学ホームページにも合格者受験番号を掲載します。

(2) 試験実施日時及び場所

志願者に対して、下記試験場で面接等を行います。理工学部（昼間）（次世代光フロンティア入試）及び生物資源産業学部の志願者については、第1次選考を実施しなかった場合は志願者全員、第1次選考を実施した場合は第1次選考合格者のみに対して、下記試験場で面接等を行います。

学部名	日		時	場 所
総合科学部	令和4年11月26日（土）	小論文	9:00~10:00	総合科学部 （常三島キャンパス） 徳島市南常三島町 1丁目1番地
		面接	10:30~	
医学部 医科栄養学科	令和4年11月24日（木）	基礎学力考査	9:00~11:20	医学部 （蔵本キャンパス） 徳島市蔵本町 3丁目18番地の15
	令和4年11月25日（金）	集団討論・個人面接	9:00~	
理工学部 （昼間）	令和4年11月25日（金）	面接	9:00~	理工学部 （常三島キャンパス） 徳島市南常三島町 2丁目1番地
理工学部 （夜間主）		面接	9:00~	
生物資源産業学部	令和4年11月25日（金）	小論文	10:00~11:30	理工学部 （常三島キャンパス） 徳島市南常三島町 2丁目1番地
		面接	13:00~	

（注） 試験開始30分前までに入室してください。

(3) 推薦要件及び選抜方法等

学部・ 学科名	総合科学部
募集人員	15人
推薦要件	<p>〈活動実績重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^{（注1）}により、前段と同等であると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者</p> <p>(3) 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(4) 高等学校等時代に部活動、校外活動、芸術及びスポーツ等のいずれかの分野で優れた実績を有する者で、入学後はその経験を活かしてリーダー的存在となりうる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員は、1校当たり2人です。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します（総得点：400点満点）。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、指定調査書 書類審査は集団面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 小論文（100点） 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力（論述能力、表現力等）を判定します。 小論文の得点が100点満点中60点未満の場合は合格者となり得ません。</p> <p>3 集団面接（300点） 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合があります。</p>
備考	<p>（注1）出願資格認定については、本学ホームページを参照、又は入試課に照会してください。申請期限内に注意してください。</p>

学部・ 学科名	総合科学部
	社会総合科学科
募集人員	5人
推薦要件	<p>〈英語能力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者</p> <p>(3) 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(4) 英語の学習成績の状況が4.3以上の者、又は次のいずれかの英語認定試験の成績を修めた者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本英語検定協会実用英語技能検定 (CSE2.0) 1,950点以上 ・TOEIC (L&R) 550点以上 ・TOEFL iBT 42点以上 ・IELTS 4.0以上 ・Cambridge English 140点以上 <p>英語認定試験の成績は、出願時点において有効なもの、有効期限のないものは受験日が出願時点より遡り、2年以内であるものに限り。なお、学校推薦型選抜Ⅰ〈英語能力重視型〉に限り、実用英語技能検定は、「従来型」「新方式」のいずれの成績でも推薦要件として認めます。証明書等のコピー (A4サイズ) は、必ず添付してください。</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します (総得点：400点満点)。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、指定調査書 書類審査は個人面接の得点に含めて選考を行います。</p> <p>2 小論文 (日本語) [100点] 本学部で勉強するにあたっての基礎的な能力 (論述能力、表現力等) を判定します。 小論文の得点が100点満点中60点未満の場合は、合格者となり得ません。</p> <p>3 個人面接 (スピーチ等含む) [300点] 「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定します。</p> <p>(1) 提出した課題作文について英語でスピーチ (3分) を行います。 (A5サイズまでのメモ用紙に限り持ち込み可)</p> <p>(2) (1)に対する簡単な質疑応答 (英語) を行います。</p> <p>(3) 志望動機等に関する質疑応答 (日本語) を行います。</p>
備考	(注1) 出願資格認定については、本学ホームページを参照、又は入試課に照会してください。申請期限内に注意してください。
その他	合格者は、2年次進級時に「国際教養コース」に優先的に所属できます。

学部・ 学科名	医学部
	医科栄養学科
募集人員	12人
推薦要件	<p>〈主体性重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、大学教育を受けるのに十分な基礎学力を有している者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、将来予防医学及び治療医学を基盤とする栄養学に関する研究に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり2人です。</p>
選抜方法等	<p>下記1～4の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書</p> <p>2 基礎学力考査 「英語」「数学 (数Ⅲを除く)」の基礎学力を確認する考査 (記述式) を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定します。</p> <p>3 集団討論 複数の評価担当者による集団討論を行います。</p> <p>4 個人面接 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格になることがあります。</p>
備考	

学部・学科 ・コース名	理 工 学 部																																																											
	理 工 学 科 (昼 間)																																																											
	社会基盤 デザインコース	機械科学コース	応用化学 システムコース	電気電子 システムコース	知能情報コース	光システムコース																																																						
募集人員	2人	2人	2人	2人	1人	1人																																																						
推薦要件	<p>〈理工学経験重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。</p> <p>(1) 高等学校の工業に関する学科を令和5年3月卒業見込みの者であり、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td>数Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工, 数Ⅲから1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活, 物基, 化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.5以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から各コースに推薦できる人員は、1校当たり各コースの募集人員以内とします。</p>						履修教科・科目名		数	数Ⅰ	数Ⅱ	工, 数Ⅲから1	理	科学と人間生活, 物基, 化基から2																																														
履修教科・科目名																																																												
数	数Ⅰ																																																											
	数Ⅱ																																																											
	工, 数Ⅲから1																																																											
理	科学と人間生活, 物基, 化基から2																																																											
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書, 活動報告書</p> <p>2 個人面接 (口頭試問あり) 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。</p> <p>個人面接で口頭試問を行う場合における基礎学力や理解力を確認するために問う科目の範囲</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科目名 コース名</th> <th colspan="3">数学</th> <th colspan="2">理科</th> <th rowspan="2">英語</th> </tr> <tr> <th>数学Ⅰ・ 数学A</th> <th>数学Ⅱ・ 数学B</th> <th>数学Ⅲ</th> <th>物理・ 物理基礎</th> <th>化学・ 化学基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会基盤デザイン</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> </tr> <tr> <td>機械科学</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>応用化学システム</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> </tr> <tr> <td>電気電子システム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知能情報</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>光システム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>●注意事項 注1) 数学, 理科, 英語の中から口頭試問を行う。</p>						科目名 コース名	数学			理科		英語	数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ	物理・ 物理基礎	化学・ 化学基礎	社会基盤デザイン		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)	機械科学		●		●			応用化学システム		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)	電気電子システム		●					知能情報		●				●	光システム		●				●
科目名 コース名	数学			理科		英語																																																						
	数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ	物理・ 物理基礎	化学・ 化学基礎																																																							
社会基盤デザイン		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)																																																						
機械科学		●		●																																																								
応用化学システム		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)																																																						
電気電子システム		●																																																										
知能情報		●				●																																																						
光システム		●				●																																																						
備考																																																												

学部・学科 ・コース名	理 工 学 部																			
	理 工 学 科 (昼 間)																			
	光システムコース																			
募集人員	5人																			
推薦要件	<p>〈次世代光フロンティア入試〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みの者で、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <p>① 普通科に在籍している者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基, 化基, 物, 化</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 理数に関する学科に在籍している者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>理数数学Ⅰ, 理数数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>理数物理, 理数化学</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 専門教育を主とする学科に在籍している者(①の教科・科目でも可)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履修教科・科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ, 数Ⅱ 工, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活, 物基, 化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 学業成績, 人物ともに優れ, 発光・受光素子, 光材料, 光情報, 医学・光学融合分野など次世代光科学に関する研究に強い関心を持ち, 将来, 光科学を通じて生活を豊かにすることに意欲を有する者</p> <p>(3) 調査書全体の学習成績の状況が4.0以上の者であり, 公益財団法人英語検定協会実用英語技能検定(CSE2.0)が1,700点以上の者又は「英語」の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p>		履修教科・科目名		数	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B	理	物基, 化基, 物, 化	履修教科・科目名		数	理数数学Ⅰ, 理数数学Ⅱ	理	理数物理, 理数化学	履修教科・科目名		数	数Ⅰ, 数Ⅱ 工, 簿, 情報から1	理	科学と人間生活, 物基, 化基から2
履修教科・科目名																				
数	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B																			
理	物基, 化基, 物, 化																			
履修教科・科目名																				
数	理数数学Ⅰ, 理数数学Ⅱ																			
理	理数物理, 理数化学																			
履修教科・科目名																				
数	数Ⅰ, 数Ⅱ 工, 簿, 情報から1																			
理	科学と人間生活, 物基, 化基から2																			
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし, 入学志願者数等の状況によっては, 「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は, 第1次選考合格者にのみ, 第2次選考として, 個人面接を行います(総得点: 150点満点)。</p> <p>1 書類審査 [50点] 調査書, 推薦書, 志望理由書, 活動報告書</p> <p>2 個人面接 (口頭試問を含む。)[100点] ※口頭試問は「数学(数Ⅲまで)」の中から試問する。</p>																			
備考	<p>・実用英語技能検定(通称: 英検)の成績は, 出願時まで取得したもの(受験日が出願時点より遡り2年6か月以内であること)に限り, 「従来型」「新方式」のいずれの成績でも構いません。活動報告書「資格・検定等」を利用の上, 必要書類を提出してください。</p> <p>・口頭試問の得点が一定水準以下の場合, 合計点のいかに関わらず不合格とします。</p>																			

推薦

学部・学科 ・コース名	理 工 学 部																																																			
	理 工 学 科 (夜 間 主)																																																			
	社会基盤 デザインコース	機械科学コース	応用化学 システムコース	電気電子 システムコース	知能情報コース																																															
募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人																																															
推薦要件	<p>〈理工学経験重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校の工業に関する学科を令和5年3月卒業見込みの者であり、次の教科・科目を履修した(見込みを含む。)者</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">履 修 教 科 ・ 科 目 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">数</td> <td>数Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>工, 数Ⅲから1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>科学と人間生活, 物基, 化基から2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から各コースに推薦できる人員は、特に制限を設けません。</p>					履 修 教 科 ・ 科 目 名		数	数Ⅰ	数Ⅱ	工, 数Ⅲから1	理	科学と人間生活, 物基, 化基から2																																							
履 修 教 科 ・ 科 目 名																																																				
数	数Ⅰ																																																			
	数Ⅱ																																																			
	工, 数Ⅲから1																																																			
理	科学と人間生活, 物基, 化基から2																																																			
選抜方法等	<p>下記1～2の選考結果を総合して判定します。</p> <p>1 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書, 活動報告書</p> <p>2 個人面接 (口頭試問あり) 各コース複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。</p> <p>個人面接で口頭試問を行う場合における基礎学力や理解力を確認するために問う科目の範囲</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">科目名 コース名</th> <th colspan="3">数 学</th> <th colspan="2">理 科</th> <th rowspan="2">英 語</th> </tr> <tr> <th>数学Ⅰ・ 数学 A</th> <th>数学Ⅱ・ 数学 B</th> <th>数 学 Ⅲ</th> <th>物 理 ・ 物理基礎</th> <th>化 学 ・ 化学基礎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会基盤デザイン</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> </tr> <tr> <td>機 械 科 学</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>応用化学システム</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td></td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> <td>●注1)</td> </tr> <tr> <td>電気電子システム</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>知 能 情 報</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table> <p>●注意事項 注1) 数学, 理科, 英語の中から口頭試問を行う。</p>					科目名 コース名	数 学			理 科		英 語	数学Ⅰ・ 数学 A	数学Ⅱ・ 数学 B	数 学 Ⅲ	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎	社会基盤デザイン		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)	機 械 科 学		●		●			応用化学システム		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)	電気電子システム		●					知 能 情 報		●				●
科目名 コース名	数 学			理 科			英 語																																													
	数学Ⅰ・ 数学 A	数学Ⅱ・ 数学 B	数 学 Ⅲ	物 理 ・ 物理基礎	化 学 ・ 化学基礎																																															
社会基盤デザイン		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)																																														
機 械 科 学		●		●																																																
応用化学システム		●注1)		●注1)	●注1)	●注1)																																														
電気電子システム		●																																																		
知 能 情 報		●				●																																														
備 考																																																				

学部・ 学科名	生 物 資 源 産 業 学 部
	生 物 資 源 産 業 学 科
	募 集 人 員
募集人員	6人 (専門高校・総合学科全国枠: 2人, 専門高校・総合学科地域枠: 4人)
推薦要件	<p>〈地方創生型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>【専門高校・総合学科全国枠】</p> <p>(1) 全国における高等学校の農業, 工業, 商業, 水産に関する学科又は総合学科を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後にバイオ産業, 食品産業, 1次産業, 6次産業のいずれかの担い手として強い意欲を持つ者, 又は生物資源・生物資源産業に関連する探究活動の経験を持つ者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>【専門高校・総合学科地域枠】</p> <p>(1) 徳島県内における高等学校の農業, 工業, 商業, 水産に関する学科又は総合学科を令和5年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後に徳島県の産業を担い、地域創生に強い意欲を持つ者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり既卒者, 卒業見込み者それぞれ2人までです。</p>
選抜方法等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数の状況によっては、「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者数にのみ、第2次選考として、小論文, 個人面接 (口頭試問含む。)を行います (総得点: 650点満点)。</p> <p>1 書類審査 [150点] 調査書, 推薦書, 活動報告書, 学びの設計書</p> <p>2 小論文 [300点] 日本語で書かれた文章や図表等により、「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行います。</p> <p>3 個人面接 (口頭試問含む。) [200点] 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認を行う場合があります。また、高校の基礎学力 (「化学・化学基礎」等) を確認するため、口頭試問を行います。</p>
備 考	小論文又は口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、総得点のいかに関わらず不合格とします。

推
薦
|

学 部 ・ 学 科 名	生 物 資 源 産 業 学 部 生 物 資 源 産 業 学 科
募 集 人 員	2 人
推 薦 要 件	<p>〈地方創生型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>【地域産業振興枠】</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、自ら住む地域の農林水産産業や生物資源産業に愛着をもち、将来において地域産業振興のリーダーとして実現性のある新しい価値を創造し、地方創生に意欲を持つ者</p> <p>(2) 大学卒業又は大学院修了後に、徳島県内高校卒業者は徳島県内、徳島県外高校卒業者は出身都道府県内又は徳島県内におけるバイオ産業、食品産業、1次産業、6次産業のいずれかの担い手として強く志望する者</p> <p>(3) 調査書全体の学習成績の状況が4.0以上の者であり、公益財団法人英語検定協会実用英語技能検定（CSE2.0）が1,700点以上の者又は「英語」の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(4) 高等学校で「化学」又は「理数化学」のいずれかを履修した（見込みを含む。）者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員は、1校当たり1人です。</p>
選 抜 方 法 等	<p>下記1～3の選考結果を総合して判定します。</p> <p>ただし、入学志願者数の状況によっては、「1書類審査」の内容により第1次選考を行うことがあります。この場合は、第1次選考合格者にのみ、第2次選考として、小論文、個人面接を行います（総得点：650点満点）。</p> <p>1 書類審査 [150点] 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 小論文 [300点]</p> <p>3 個人面接（プレゼンテーション、口頭試問が中心）[200点] ※プレゼンテーションは「学びの設計書」に関する内容（日本語で5分）注 ※口頭試問は「化学・化学基礎」</p>
備 考	<p>※本枠はいわゆる「地域枠」ではありません。</p> <p>・学科全体で選抜（コース確定は2年次）</p> <p>・実用英語技能検定（通称：英検）の成績は、出願時までに取得したもの（受験日が出願時点より遡り2年6か月以内であること）に限り、「従来型」「新方式」のいずれの成績でも構いません。活動報告書「資格・検定等」を利用の上、必要書類を提出してください。</p> <p>・小論文又は口頭試問の得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかに関わらず不合格とします。</p> <p>注）個人面接の「プレゼンテーション」は、「学びの設計書」をもとに説明用資料（A4・1枚～2枚程度：様式任意）を作成し、試験当日に持参することを認めます（作成は任意）。説明用資料は、タイトル、受験番号、氏名を必ず記入（様式は任意）の上、各自で5部を印刷・持参し、集合時間時に提出してください（返却はできません）。アドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針を踏まえ、提出した「学びの設計書」との整合性が取れるようコンパクトに作成してください。なお、プロジェクターの利用は想定していませんが、ホワイトボードを用意しますので利用する場合は面接時に申告してください。</p>

(4) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う国公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した場合は、他の国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することはできません。
ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）に不合格となった者は、同一学科・専攻・コースを志望する場合に限り、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）に出願することができます。また、国公立大学の学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した者は、当該大学・学部の定める方法により入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学の一般選抜等を受験しても合格者となりません。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しません。また、受理後は記載事項の変更を認めません。
なお、一度受理した出願書類及び領収した検定料は、5ページに該当する場合を除き、返還しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。

推
薦
Ⅰ

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

1 募集人員及び推薦人員

学部名	学科・専攻・コース名	募集人員	各高等学校から推薦できる人員	
総合科学部	社会総合科学科	30人 <small>（大学入学共通テスト利用 5(6)教科型）</small>	制限なし	
		15人 <small>（大学入学共通テスト利用 3教科型）</small>	制限なし	
医学部	医学科※	37人 <small>（一般枠20人、 地域枠（地域特別枠含む）17人）</small>	制限なし	
	医科栄養学	13人	制限なし	
	保健学	看護学専攻	20人	制限なし
		放射線技術科学専攻	8人	制限なし
	検査技術科学専攻	5人	制限なし	
学部計		83人		
歯学部	歯学	10人	制限なし	
	口腔保健学	5人	制限なし	
	学部計		15人	
薬学部	薬学	5人 <small>（創薬研究者育成型）</small>	制限なし	
		5人 <small>（先導的地域医療 薬剤師育成型）</small>		
理工学部	昼間	理工学	143人	
		数理科学コース	(6人)	制限なし
		自然科学コース	(9人)	制限なし
		社会基盤デザインコース	(24人)	制限なし
		機械科学コース	(25人)	制限なし
		応用化学システムコース	(24人)	制限なし
		電気電子システムコース	(22人)	制限なし
		知能情報コース	(23人)	制限なし
光システムコース	(10人)	制限なし		
生物資源産業学部	生物資源産業学	22人	制限なし	

(注) 1 学校推薦型選抜において記載されている「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。

2 理工学部理工学科の募集人員の各コースの内訳〔() 内の数〕は、各コースのおよその人数です。

3 薬学部は、入学志願者数の状況によっては、第1次選考通過者を募集人員の約5倍とする場合があります。

※医学部医学科の募集人員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

2 推薦要件及び選抜方法等

(1) 同選抜で本学に入学を志願する者は、令和5年度大学入学共通テストのうち本学が指定した全教科・科目を受験しておく必要があります。指定した教科・科目を受験せず願した者は無資格者となりますので、本学の第2次選考(面接等)を受験することはできません。

なお、本学では、過年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。

(2) 第1次選考の結果について

第1次選考の結果については、令和5年2月7日(火)付で推薦高等学校等の長に文書により発送します。また、本人には同日に電子郵便により発送します。令和5年2月8日(水)を過ぎて文書が到達しない場合は、最寄りの郵便配達局又は徳島中央郵便局へ問い合わせてください。

ただし、医学部保健学科では、第1次選考を実施しませんので、結果通知は行いません。

学部名	第1次選考日	ホームページで合格者受験番号を掲載する日時
総合科学部	令和5年2月7日(火)	令和5年2月7日(火) 17時過ぎ
医学部(保健学科を除く)		
歯学部		
薬学部		
理工学部		
生物資源産業学部		

(3) 第2次選考試験実施日時及び場所

第1次選考に合格した者及び医学部保健学科の志願者に対して、各学部内の試験場で面接等を行います。

学部名	日時	場所
総合科学部	令和5年2月11日(土)	総合科学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町1丁目1番地
医学部		医学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
歯学部		歯学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
薬学部		薬学部(蔵本キャンパス) 徳島市庄町1丁目78番地の1
理工学部		理工学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町2丁目1番地
生物資源産業学部		総合科学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町1丁目1番地

(注) 理工学部は、第1次選考の結果により、面接を免除する場合があります。

(4) 推薦要件及び選抜方法等

学部・学科名	総合科学部
募集人員	30人
推薦要件	<p>〈大学入学共通テスト利用5(6)教科型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者とし、</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、幅広い基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 令和5年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(3) 本学部の教育分野に強い関心をもつ者又は専攻したい領域への意欲が強い者</p> <p>(4) 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(5) 高等学校等時代に教科、部活動、校外活動を通じて旺盛な知的好奇心を培い、入学後は学術的指向性が発揮されることが期待できる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>

選抜方法等	第1次選考(大学入学共通テストの成績含む。)及び第2次選考の結果を総合して判定します(総得点:1,500点満点)。																								
	1 第1次選考(大学入学共通テスト/書類審査)(900点)																								
備 考	(1) 大学入学共通テスト																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理Bから1又は2</td> <td rowspan="2">}から2</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経から1又は0</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学から1又は2 (科目選択方法A~D)^(注2)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table>		利用教科・科目名		配点	国	国	200	地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2	}から2	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1又は0	数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	200	理	物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学から1又は2 (科目選択方法A~D) ^(注2)	100	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	200	配点合計		900
	利用教科・科目名		配点																						
	国	国	200																						
	地歴	世B, 日B, 地理Bから1又は2	}から2																						
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経から1又は0																							
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	200																							
理	物基, 化基, 生基, 地学基, 物, 化, 生, 地学から1又は2 (科目選択方法A~D) ^(注2)	100																							
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	200																							
配点合計		900																							
<p>なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点(大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点)程度に達しない場合は、合格者となり得ません。</p>																									
(2) 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書																									
2 第2次選考(面接:600点)																									
(1) 集団面接 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合があります。																									
<p>(注1) 出願資格認定については、本学ホームページを参照、又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。</p> <p>(注2) 受験内容が科目選択方法A~Dのどれに該当するか、成績利用の条件を満たすかについては、61ページの表を参照してください。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点と基礎を付さない1科目の得点を比較し、得点の高い方を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p>																									
<p>・第1次選考の書類審査において、アドミッション・ポリシーに適合していないと判定した場合は、合格者となり得ません。なお、書類審査は、第2次選考においても集団面接の得点に含めて選考を行います。</p>																									

推薦
II

学部・学科名	総合科学部 社会総合科学科																				
募集人員	15人																				
推薦要件	<p>〈大学入学共通テスト利用3教科型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みの者で、学業成績が優秀であり、基礎学力を有している者、あるいは本学において、個別の入学資格審査^(注1)により、前段と同等であると認められた者で、令和5年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(2) 令和5年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(3) 本学部の教育分野に強い関心をもつ者又は専攻したい領域への意欲が強い者</p> <p>(4) 高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>(5) 高等学校等時代に教科、部活動、校外活動を通じて旺盛な知的好奇心を培い、入学後は学究的指向性が発揮されることが期待できる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校等から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																				
選抜方法等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。（総得点：1,500点満点）。</p> <p>1 第1次選考〔大学入学共通テスト／書類審査〕（900点）</p> <p>(1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B、日B、地理B</td> <td rowspan="2">} から1^(注2)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、大学入学共通テストの成績が全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度に達しない場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書</p> <p>2 第2次選考〔面接：600点〕</p> <p>(1) 集団面接 複数の面接担当者による集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合があります。</p>	利用教科・科目名		配点	国	国	300	地歴	世B、日B、地理B	} から1 ^(注2)	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	300	外	英、独、仏、中、韓から1	300	配点合計		900
利用教科・科目名		配点																			
国	国	300																			
地歴	世B、日B、地理B	} から1 ^(注2)																			
公民	現社、倫、政経、倫・政経																				
数	数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	300																			
外	英、独、仏、中、韓から1	300																			
配点合計		900																			
備考	<p>(注1) 出願資格認定については、本学ホームページを参照、又は入試課に照会してください。申請期限に注意してください。</p> <p>(注2) 複数の科目を受験した場合は、最も得点の高い科目を利用します。「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <p>・第1次選考の書類審査において、アドミッション・ポリシーに適合していないと判定した場合は、合格者となり得ません。なお、書類審査は、第2次選考においても集団面接の得点に含めて選考を行います。</p>																				

学部・学科名	医学部 医学科																							
募集人員	37人（一般枠20人，地域枠（地域特別枠含む。） ^(注1) 17人）																							
推薦要件	<p>〈適性と学力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。</p> <p>【一般枠・地域枠（地域特別枠含む。）共通】</p> <p>(1) 高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 本学で学ぶにふさわしく、かつ、大学院（博士課程）への進学に意のある者</p> <p>(3) 将来像として、次のいずれかを希望する者</p> <p>① 病める人の気持ちができるような思いやりのある温かい心をもつ医師をめざす者</p> <p>② 医学研究の発展に貢献する医学者をめざす者</p> <p>③ 医療行政、福祉の領域で国民の健康の維持・増進に尽くす者</p> <p>(4) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(5) スポーツ・文化活動、ボランティア活動又は国際交流活動等を通して、広い視野をもち充実した高等学校生活を送っている者</p> <p>【地域枠（地域特別枠含む。）のみ】</p> <p>(1) 地域枠（地域特別枠を含む。）は、次の要件を満たしていること。</p> <p>① 将来、医師として徳島県での医療を担うという強い意志を有する者</p> <p>② 徳島県が実施する面接を受け、徳島県から推薦状を受けた者</p> <p>③ 地域特別枠に合格した場合に、地域特別枠として入学を確約できる者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																							
選抜方法等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〔大学入学共通テスト／書類審査〕</p> <p>(1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B、日B、地理B</td> <td rowspan="2">} から1^(注2)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物、化、生から2（科目選択方法D）</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、大学入学共通テストの成績が本学部の指定する各科目の合計点（900点満点（傾斜後の配点））の概ね75%未満の場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書、推薦状、確約書（地域枠のみ）</p> <p>2 第2次選考〔集団討論・集団面接：200点〕</p> <p>(1) 集団討論 複数の評価担当者による集団討論を行います。</p> <p>(2) 集団面接 複数の面接担当者による集団面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(3) 個人面接 ※地域枠（地域特別枠含む。）のみ 複数の面接担当者による個人面接を行います。地域医療に対して責任を持って行動できる主体性等について評価します。</p>	利用教科・科目名		配点	国	国	200	地歴	世B、日B、地理B	} から1 ^(注2)	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	200	理	物、化、生から2（科目選択方法D）	200	外	英、独、仏、中、韓から1	200	配点合計		900
利用教科・科目名		配点																						
国	国	200																						
地歴	世B、日B、地理B	} から1 ^(注2)																						
公民	現社、倫、政経、倫・政経																							
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	200																						
理	物、化、生から2（科目選択方法D）	200																						
外	英、独、仏、中、韓から1	200																						
配点合計		900																						

推薦
II

備 考	<p>(注1) 地域枠（地域特別枠を含む。）については、令和5年度徳島大学医学部医学科推薦入試に係る「徳島県地域枠推薦学生」募集要項（令和4年9月頃公表予定）（https://anshin.pref.tokushima.jp/med/bunya/ishi/）を確認し、徳島県が発行した推薦状を必ず提出してください。なお、地域枠は17人で、その中の最大12人を地域特別枠とします。地域特別枠は、入学後に徳島県の医師修学資金を受け、卒業後の一定期間を徳島県の公的医療機関において従事することを前提とした学生募集です。</p> <p>(注2) 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <p>※医学部医学科の定員は、現在調整中です。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。</p> <p>【合否判定について／以下、「地域枠（地域特別枠含む。）」を「地域枠」と略します】 (一般枠の合否判定) 一般枠は全国から学生募集を行います。一般枠の合否判定は、地域枠合格者17人を決定した後、成績上位から20人を一般枠合格者とします。一般枠合格者の合否判定では、地域枠出願の有無、並びに地域枠のみ実施する個人面接の評価が合否に影響することはありません。 (地域枠の合否判定と地域特別枠の扱い) 地域枠を志望している者の中から、第1次選考及び第2次選考（集団討論・集団面接の得点）の総合点が高い者から順に、地域枠の合否を判定します。地域枠合格とならなかった者は、一般枠の対象として合否判定を行い、成績上位に至った場合に一般枠合格者とします。 なお、地域枠合格者17人のうち、個人面接における評価の高い者から最大12人を地域特別枠の合格者とします。（評価が同じ場合は、第1次選考及び第2次選考（集団討論・集団面接の得点）の総合点が高い者を上位者とします。）</p>
--------	---

学 部 ・ 学 科 名	医 学 部																							
募 集 人 員	13人																							
推 薦 要 件	<p>〈主体性と学力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。 (1) 高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者 (2) 学業成績、人物ともに優れ、将来予防医学及び治療医学を基盤とする栄養学に関する研究に貢献することが期待できる者 (3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																							
選 抜 方 法 等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〔大学入学共通テスト／書類審査〕 (1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">利 用 教 科 ・ 科 目 名</th> <th>配 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>地理</td> <td>世B、日B、地理B</td> <td rowspan="2">}から1^(注1)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基、化基、生基、物、化、生から1又は2 (科目選択方法A～D)^(注2)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">配点合計</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、大学入学共通テストの成績が傾斜配点後の全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度に達しない場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査 調査書、推薦書、志望理由書</p> <p>2 第2次選考〔面接〕 (1) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p>	利 用 教 科 ・ 科 目 名		配 点	国	国	50	地理	世B、日B、地理B	}から1 ^(注1)	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	100	理	物基、化基、生基、物、化、生から1又は2 (科目選択方法A～D) ^(注2)	100	外	英、独、仏、中、韓から1	100	配点合計		400
利 用 教 科 ・ 科 目 名		配 点																						
国	国	50																						
地理	世B、日B、地理B	}から1 ^(注1)																						
公民	現社、倫、政経、倫・政経																							
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1	100																						
理	物基、化基、生基、物、化、生から1又は2 (科目選択方法A～D) ^(注2)	100																						
外	英、独、仏、中、韓から1	100																						
配点合計		400																						
備 考	<p>(注1) 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。 (注2) 受験内容が科目選択方法A～Dのどれに該当するか、成績利用の条件を満たすかについては、61ページの表を参照してください。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点と基礎を付さない1科目の得点を比較し、得点の高い方を利用します。 科目選択方法Dで受験した場合は、第1解答科目の得点を利用します。</p>																							

学部・ 学科名・ 専攻名	医 学 部																										
	保 健 学 科																										
	看 護 学 専 攻																										
募集人員	20人																										
推薦要件	<p>〈主体性・表現力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としします。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みであり、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、国際化・高度化する医療の発展を支える看護技術を修得するために必要な基礎学力を有し、健康の維持、増進及び生活の質を高める看護学に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																										
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1^(注1)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基, 化基, 生基, 物, 化, 生から2 (科目選択方法A, C, D)^(注2)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 個別学力検査等〔書類審査／集団討論／面接〕</p> <p>(1) 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書</p> <p>(2) 集団討論及び個人面接〔200点〕 複数の評価担当者による集団討論及び複数の面接担当者による個人面接を行います。集団討論では、試験室で提示されたテーマをもとに討論を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行います。提出書類などの内容を確認する場合があります。 なお、面接点が一定水準以下の場合、大学入学共通テストの成績等との合計点のいかんに関わらず不合格となることがあります。</p>		利用教科・科目名		配点	国	国	50	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 ^(注1)	50	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経		数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1	100	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	理	物基, 化基, 生基, 物, 化, 生から2 (科目選択方法A, C, D) ^(注2)	100	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100	配点合計		400
利用教科・科目名		配点																									
国	国	50																									
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 ^(注1)	50																									
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																										
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1	100																									
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																										
理	物基, 化基, 生基, 物, 化, 生から2 (科目選択方法A, C, D) ^(注2)	100																									
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100																									
配点合計		400																									
備 考	<p>(注1) 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <p>(注2) 科目選択方法A又はCにおいては「生物基礎」、科目選択方法Dにおいては「生物」を必ず選択していることが条件です。 受験内容が科目選択方法A、C、Dのどれに該当するか、成績利用の条件を満たすかについては、61ページの表を参照してください。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、合計得点(200点満点)を100点満点に換算した上で利用します。</p>																										

学部・ 学科名・ 専攻名	医 学 部																	
	保 健 学 科																	
	放 射 線 技 術 科 学 専 攻																	
募集人員	8人																	
推薦要件	<p>〈主体性重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としします。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みであり、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、放射線技術科学を基盤として、放射線医療の向上に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>(4) 高等学校において「物理」を履修した(見込みを含む。)者 なお、理数に関する学科に在籍している者については、「理数物理」を履修した(見込みを含む。)者でもよい。</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																	
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ・数A</td> <td rowspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>化基, 生基, 物, 化, 生から2又は3(科目選択方法C, D)^(注1)</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 個別学力検査等〔書類審査／面接〕</p> <p>(1) 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書</p> <p>(2) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行います。本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p>		利用教科・科目名		配点	数	数Ⅰ・数A	200	数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	理	化基, 生基, 物, 化, 生から2又は3(科目選択方法C, D) ^(注1)	200	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100	配点合計		500
利用教科・科目名		配点																
数	数Ⅰ・数A	200																
	数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																	
理	化基, 生基, 物, 化, 生から2又は3(科目選択方法C, D) ^(注1)	200																
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100																
配点合計		500																
備 考	<p>(注1) 科目選択方法C又はDのいずれにおいても、「物理」を選択していることが条件です。 受験内容が科目選択方法C、Dのどれに該当するか、成績利用の条件を満たすかについては、61ページの表を参照してください。 科目選択方法Cで受験した場合は、3つの科目間で同一名称科目の重複は認めません。</p>																	

学部・学科名・専攻名	医 学 部 保 健 学 科 検 査 技 術 科 学 専 攻																							
募集人員	5人																							
推薦要件	<p>〈主体性・表現力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みであり令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績、人物ともに優れ、国際化・高度化する医療の発展を支える検査技術を修得するために必要な基礎学力を有し、検査技術の発展に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																							
選抜方法等	<p>大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の結果を総合して判定します。</p> <p>1 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B</td> <td rowspan="2">} から1^(注1)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物, 化, 生から2 (科目選択方法D)^(注2)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 個別学力検査等〔書類審査／面接〕</p> <p>(1) 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書</p> <p>(2) 集団面接 [200点] 複数の面接担当者で集団面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行います。提出書類などの内容を確認する場合があります。 なお、面接点が一定水準以下の場合は、大学入学共通テストの成績等との合計点のいかに関わらず不合格となることがあります。</p>	利用教科・科目名		配点	国	国	50	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1 ^(注1)	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	100	理	物, 化, 生から2 (科目選択方法D) ^(注2)	100	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100	配点合計		400
利用教科・科目名		配点																						
国	国	50																						
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1 ^(注1)																						
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																							
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	100																						
理	物, 化, 生から2 (科目選択方法D) ^(注2)	100																						
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100																						
配点合計		400																						
備 考	<p>(注1) 「地理歴史」, 「公民」を2科目受験した場合は, 「第1解答科目」を利用します。</p> <p>(注2) 「化学」を必ず選択していることが条件です。</p>																							

学部・学科名	歯 学 部 歯 学 科																							
募集人員	10人																							
推薦要件	<p>〈主体性・表現力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者となります。</p> <p>(1) 高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者であり、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 人物及び学業成績が優秀で、歯科医学を志し、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備えている者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																							
選抜方法等	<p>第1次選考 (大学入学共通テストの成績を含む。)の結果、そして第2次選考の結果によって判定します。第1次選考における大学入学共通テストの成績は、一定の学力水準への達成度を判定するため、資格試験的に利用します。よって、最終の可否判定 (第2次選考) は、第1次選考通過者の中から、集団討論及び個人面接の総合成績が高い者を合格者となります。(注1)</p> <p>1 第1次選考 (大学入学共通テスト／書類審査)</p> <p>(1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> <td rowspan="2">} から1^(注2)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物, 化, 生から2 (科目選択方法D)</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、第1次選考では大学入学共通テストの成績を資格試験的に利用するため、大学入学共通テストの成績が本学部の指定する各科目の合計点 (550点満点 (傾斜後の配点)) の概ね75%未満の場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査 調査書, 推薦書, 志望理由書</p> <p>2 第2次選考 (集団討論／個人面接) 配点: 320点</p> <p>(1) 集団討論 提示されるテーマ (医療や健康に関する現代の社会的諸問題) に関して討論を行い、結論を導きます。その過程を複数の担当者により評価します。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(2) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p>	利用教科・科目名		配点	国	国	100	地歴	世B, 日B, 地理B	} から1 ^(注2)	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	100	理	物, 化, 生から2 (科目選択方法D)	200	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100	配点合計		550
利用教科・科目名		配点																						
国	国	100																						
地歴	世B, 日B, 地理B	} から1 ^(注2)																						
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																							
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	100																						
理	物, 化, 生から2 (科目選択方法D)	200																						
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100																						
配点合計		550																						
備 考	<p>(注1) 学校推薦型選抜Ⅱの第2次選考では、大学入学共通テストの成績を判定に利用しないことを原則としますが、第2次選考の合格最低点で同点者が出た場合に限り、大学入学共通テストの合計点 (550点満点 (傾斜後の配点)) が高い者を合格者となります。</p> <p>(注2) 「地理歴史」, 「公民」を2科目受験した場合は, 「第1解答科目」を利用します。</p>																							

推
薦
Ⅱ

学部・学科名	歯 学 部 口 腔 保 健 学 科																									
募集人員	5人																									
推薦要件	<p>〈主体性・表現力重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者であり、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 人物及び学業成績が優秀で、口腔保健学を志し、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備えている者</p> <p>(3) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																									
選抜方法等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考〔大学入学共通テスト／書類審査〕</p> <p>(1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> <td rowspan="2">} から1 (注1)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物基, 化基, 生基, 物, 化, 生から2 (科目選択方法A, C, D) (注2)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 書類審査 調査書, 推薦書, 活動報告書</p> <p>2 第2次選考（集団討論／個人面接）配点：200点</p> <p>(1) 集団討論 複数の評価担当者による集団討論を行います。提示されたテーマをもとに討論を行います。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p> <p>(2) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合があります。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定します。従って、大学入学共通テスト等の成績にかかわらず不合格となることがあります。</p>		利用教科・科目名		配点	国	国	100	地歴	世B, 日B, 地理B	} から1 (注1)	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1	100	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	理	物基, 化基, 生基, 物, 化, 生から2 (科目選択方法A, C, D) (注2)	100	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100	配点合計		450
利用教科・科目名		配点																								
国	国	100																								
地歴	世B, 日B, 地理B	} から1 (注1)																								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																									
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1	100																								
	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1																									
理	物基, 化基, 生基, 物, 化, 生から2 (科目選択方法A, C, D) (注2)	100																								
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	100																								
配点合計		450																								
備考	<p>(注1) 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <p>(注2) 受験内容が科目選択方法A, C, Dのどれに該当するか、成績利用の条件を満たすかについては、62ページの表を参照してください。科目選択方法Cで受験した場合は、基礎を付した2科目の得点を利用します。科目選択方法Dで受験した場合は、合計得点（200点満点）を100点満点に換算した上で利用します。</p>																									

学部・学科名	薬 学 部 薬 学 科																									
募集人員	5人〈創薬研究者育成型（長井枠）〉																									
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件を満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としてします。</p> <p>(1) 高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績・人物ともに優れ、薬剤師資格の取得を希望するとともに、研究者として薬学に貢献することが期待できる者</p> <p>(3) 大学入学後、創製薬科学研究者育成コースのカリキュラムを履修することを前提とし、徳島大学大学院薬学研究科において大学院進学を強く志望する者</p> <p>(4) 調査書全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																									
選抜方法等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。（総得点：1,250点満点）</p> <p>1 第1次選考（大学入学共通テスト／書類審査）</p> <p>(1) 大学入学共通テスト（550点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B</td> <td rowspan="2">} から1 (注1)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ・数A</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物, 化, 生から2（科目選択方法D）</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、大学入学共通テストの成績が本学部の指定する各科目の合計点（550点満点（傾斜後の配点））の概ね70%未満の場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査（200点） 調査書, 推薦書, 活動報告書, 学びの設計書</p> <p>2 第2次選考（論述レポート・個人面接：500点）</p> <p>(1) 論述レポート：薬学に関する講義を聞き、論述形式のレポートを作成します（全て日本語）。</p> <p>(2) 個人面接：アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行います。提出書類や論述レポートの内容を確認する場合があります。</p>		利用教科・科目名		配点	国	国	100	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1 (注1)	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A	100	数Ⅱ・数B	理	物, 化, 生から2（科目選択方法D）	100	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	200	配点合計		550
利用教科・科目名		配点																								
国	国	100																								
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} から1 (注1)																								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																									
数	数Ⅰ・数A	100																								
	数Ⅱ・数B																									
理	物, 化, 生から2（科目選択方法D）	100																								
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1	200																								
配点合計		550																								
備考	<p>(注1) 「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <p>※入学志願者数の状況によっては、第1次選考通過者を募集人員の約5倍とする場合があります。</p> <p>※書類審査又は第2次選考におけるいずれかの点数が一定水準以下の場合は、不合格となることがあります。</p>																									

推
薦
Ⅱ

学部・学科名	薬学部																								
	薬学科																								
募集人員	5人〈先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）〉																								
推薦要件	<p>1 推薦の要件 次の要件を満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としします。</p> <p>(1) 高等学校を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業した者又は卒業見込みの者で、令和5年度大学入学共通テストにおいて本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学業成績・人物ともに優れ、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして、社会に貢献することを強く志望する者</p> <p>(3) 大学入学後、先導的薬剤師育成コース（研究型地域医療薬剤師）のカリキュラムを履修することを前提とし、徳島大学大学院薬学研究科において大学院進学に意欲のある者</p> <p>(4) 調査書全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																								
選抜方法等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。（総得点：1,250点満点）</p> <p>1 第1次選考（大学入学共通テスト／書類審査）</p> <p>(1) 大学入学共通テスト（550点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利用教科・科目名</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B</td> <td rowspan="2">50</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社、倫、政経、倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物、化、生から2（科目選択方法D）</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英、独、仏、中、韓から1</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配点合計</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、大学入学共通テストの成績が本学部の指定する各科目の合計点（550点満点（傾斜後の配点））の概ね70%未満の場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査（200点） 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 第2次選考〔小論文・個人面接：500点〕</p> <p>(1) 小論文：日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行います。</p> <p>(2) 個人面接：アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行います。提出書類や小論文の内容を確認する場合があります。</p>		利用教科・科目名		配点	国	国	100	地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	50	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	100	理	物、化、生から2（科目選択方法D）	100	外	英、独、仏、中、韓から1	200	配点合計		550
利用教科・科目名		配点																							
国	国	100																							
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	50																							
公民	現社、倫、政経、倫・政経																								
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	100																							
理	物、化、生から2（科目選択方法D）	100																							
外	英、独、仏、中、韓から1	200																							
配点合計		550																							
備考	<p>(注1)「地理歴史」、「公民」を2科目受験した場合は、「第1解答科目」を利用します。</p> <p>※入学志願者数の状況によっては、第1次選考通過者を募集人員の約5倍とする場合があります。</p> <p>※書類審査又は第2次選考におけるいずれかの点数が一定水準以下の場合は、不合格となることがあります。</p>																								

学部・学科・コース名	理工学部																																											
	理工学科（昼間）																																											
	数理科学コース	自然科学コース	社会基盤デザインコース	機械科学コース	応用化学システムコース	電気電子システムコース	知能情報コース	光システムコース																																				
募集人員	6人	9人	24人	25人	24人	22人	23人	10人																																				
推薦要件	<p>〈主体性・創造性重視型〉</p> <p>1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としします。</p> <p>(1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みの者で、令和5年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者</p> <p>(2) 学習意欲旺盛で、人物、学業成績ともに優秀な者</p> <p>(3) 高等学校において、次の教科・科目を履修した（見込みを含む。）者</p> <p>① 普通科に在籍している者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数理科学コース 自然科学コース</th> <th>社会基盤デザインコース 知能情報コース 光システムコース</th> <th>機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理 物基、化基、生基、地学基から2</td> <td>物基、化基</td> <td>物基、化基、物、化</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 理数に関する学科に在籍している者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数理科学コース 自然科学コース</th> <th>社会基盤デザインコース、 機械科学コース、 応用化学システムコース、 電気電子システムコース、 知能情報コース、 光システムコース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理 理数物理、理数化学、理数生物、 理数地学から2</td> <td>理数物理、理数化学</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 専門教育を主とする学科に在籍している者（①の教科・科目でも可）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数理科学コース 自然科学コース</th> <th>社会基盤デザインコース 機械科学コース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース</th> <th>応用化学システムコース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 数Ⅰ、数Ⅱ 工、簿、情報から1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理 物基、化基、生基、地学基から2</td> <td>科学と人間生活、物基、化基から2</td> <td>物基、化基</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 高等学校における調査書の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>								数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 知能情報コース 光システムコース	機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース	数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B			理 物基、化基、生基、地学基から2	物基、化基	物基、化基、物、化	数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース、 機械科学コース、 応用化学システムコース、 電気電子システムコース、 知能情報コース、 光システムコース	数 理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ		理 理数物理、理数化学、理数生物、 理数地学から2	理数物理、理数化学	数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 機械科学コース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース	応用化学システムコース	数 数Ⅰ、数Ⅱ 工、簿、情報から1			理 物基、化基、生基、地学基から2	科学と人間生活、物基、化基から2	物基、化基												
数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 知能情報コース 光システムコース	機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース																																										
数 数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B																																												
理 物基、化基、生基、地学基から2	物基、化基	物基、化基、物、化																																										
数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース、 機械科学コース、 応用化学システムコース、 電気電子システムコース、 知能情報コース、 光システムコース																																											
数 理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ																																												
理 理数物理、理数化学、理数生物、 理数地学から2	理数物理、理数化学																																											
数理科学コース 自然科学コース	社会基盤デザインコース 機械科学コース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース	応用化学システムコース																																										
数 数Ⅰ、数Ⅱ 工、簿、情報から1																																												
理 物基、化基、生基、地学基から2	科学と人間生活、物基、化基から2	物基、化基																																										
選抜方法等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します。</p> <p>1 第1次選考（大学入学共通テスト／書類審査）</p> <p>(1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用教科・科目名</th> <th>社会基盤デザインコース</th> <th>機械科学コース</th> <th>数理科学コース、自然科学コース、 応用化学システムコース、 電気電子システムコース</th> <th>知能情報コース、 光システムコース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国 国</td> <td>100</td> <td>50</td> <td>200</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">100</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>公民</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>200</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="5">配点合計</td> </tr> </tbody> </table>								利用教科・科目名	社会基盤デザインコース	機械科学コース	数理科学コース、自然科学コース、 応用化学システムコース、 電気電子システムコース	知能情報コース、 光システムコース	国 国	100	50	200	100	地歴	50	50	100	100	公民	数	200	300	200	200	理	200	300	200	200	外	200	200	200	200	配点合計				
利用教科・科目名	社会基盤デザインコース	機械科学コース	数理科学コース、自然科学コース、 応用化学システムコース、 電気電子システムコース	知能情報コース、 光システムコース																																								
国 国	100	50	200	100																																								
地歴	50	50	100	100																																								
公民																																												
数	200	300	200	200																																								
理	200	300	200	200																																								
外	200	200	200	200																																								
配点合計																																												

推薦
II

なお、大学入学共通テストの成績が、数理学・社会基盤デザイン・機械科学各コース志望者については傾斜配点後の全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）程度、自然科学・応用化学システム・電気電子システム・知能情報・光システム各コース志望者については傾斜配点後の全国平均点の90%程度に達しない場合は、合格者となり得ません。

(2) 書類審査
調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書

2 第2次選考（面接）
(1) 個人面接（口頭試問あり）
複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をすることがあります。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合があります。なお、第1次選考の結果により、面接を免除する場合があります。

個人面接で口頭試問を行う場合における基礎学力や理解力を確認するために問う科目の範囲

科目名	数学			理科				英語
	数学Ⅰ・ 数学A	数学Ⅱ・ 数学B	数学Ⅲ	物理・ 物理基礎	化学・ 化学基礎	生物・ 生物基礎	地学・ 地学基礎	
数 理 科 学				□頭試問は行わない				
自 然 科 学				□頭試問は行わない				
社会基盤デザイン				□頭試問は行わない				
機 械 科 学				□頭試問は行わない				
応用化学システム		● ^{注1)}		● ^{注1)}	● ^{注1)}			● ^{注1)}
電気電子システム		●						
知 能 情 報		●						●
光 シ ス テ ム		●						●

●注意事項
注1) 数学、理科（物理・物理基礎、化学・化学基礎）、英語の中から口頭試問を行う場合がある。

備 考 ・志望コース毎に選択します。

そ の 他 徳島大学工学部 入学時日亜特別給付金について
入学時給付金制度は、日亜化学工業株式会社より贈られた寄附金を原資とし、徳島大学工学部への入学を希望する受験生で経済的に困窮している学生に対して、重点的に入学後の生活を支援することを目的としています。
本奨学金に申請のうえ、内定した方が入学後に所定の手続きをとることで奨学生として正式に採用されます。
詳しくは、徳島大学工学部ホームページをご覧ください。
【問い合わせ先】徳島大学工学部事務課学務係 TEL：088－656－7315

学 部 ・ 学 科 名	生 物 資 源 産 業 学 部																	
募集人員	22人																	
推 薦 要 件	<p><主体性・表現力重視型> 1 推薦の要件 次の要件をすべて満たしている者で、高等学校の長が責任を持って推薦でき、合格した場合は入学を確約できる者としませす。 (1) 高等学校を令和5年3月卒業見込みであり、令和5年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した全教科・科目を受験した者 (2) 学習意欲旺盛で、人物、学業成績ともに優秀な者 (3) 高等学校における調査書の「理科」の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>2 推薦人員 各高等学校から推薦できる人員には、特に制限を設けません。</p>																	
選 抜 方 法 等	<p>第1次選考（大学入学共通テストの成績含む。）及び第2次選考の結果を総合して判定します（総得点：650点満点）。</p> <p>1 第1次選考（大学入学共通テスト：300点／書類審査：150点） (1) 大学入学共通テスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">利 用 教 科 ・ 科 目 名</th> <th>配 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>数Ⅰ・数A</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物、化、生から2（科目選択方法D）^{注1)}</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">配 点 合 計</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、大学入学共通テストの成績が、全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）の90%程度に達しない場合は、合格者となり得ません。</p> <p>(2) 書類審査 調査書、推薦書、活動報告書、学びの設計書</p> <p>2 第2次選考（個人面接：200点） (1) 個人面接 複数の面接担当者による個人面接を行います。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認を行う場合があります。</p>		利 用 教 科 ・ 科 目 名		配 点	数	数Ⅰ・数A	100	数Ⅱ・数B	理	物、化、生から2（科目選択方法D） ^{注1)}	100	外	英	100	配 点 合 計		300
利 用 教 科 ・ 科 目 名		配 点																
数	数Ⅰ・数A	100																
	数Ⅱ・数B																	
理	物、化、生から2（科目選択方法D） ^{注1)}	100																
外	英	100																
配 点 合 計		300																
備 考	(注1) 「化学」を必ず選択していることが条件です。																	

(5) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

本学が指定する大学入学共通テストの利用教科・科目は次のとおりです。

なお、大学入学共通テストの成績が選考基準の得点に満たない場合は、合格者となり得ません。

- ① 「外国語」の「英語」の成績は、リーディング（100点満点）を200点、リスニング（100点満点）を50点に換算し、総合計250点満点を各学科等が定めている配点に換算します。ただし、リスニングを免除された受験者については、他の外国語の科目受験者と同様に筆記試験の得点のみ利用します。
- ② 「地理歴史」、「公民」及び「理科」について1科目が課されている場合、2科目受験者については、「第1解答科目」の成績を採用します。
ただし、出願する学部等が指定する科目を「第1解答科目」で受験しておらず、「第2解答科目」で受験している場合は、当該利用教科を受験したものと見なしますが、成績は「0点」とします。
- ③ 理科の科目選択方法は、次のとおりです。
大学入試センターが定めているA～Dの出題科目の選択方法に基づくものです。
なお、実際に選択可能な方法及び科目は学部等毎で異なり、個別に指定があります。
A：基礎を付した科目群から2科目選択
B：基礎を付していない科目群から1科目選択
C：基礎を付した科目群から2科目選択及び基礎を付していない科目群から1科目選択の合計3科目選択
D：基礎を付していない科目群から2科目選択
- ④ 2科目を課す教科の配点は、合計得点を表記しており、それぞれの配点は同点とします。
- ⑤ 専門学科に関する科目について

「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を利用することとしている学科等において、当該科目を選択できる者は、高等学校（中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。）の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者に限ります。

(6) 令和5年度大学入学共通テスト利用教科・科目確認表

学部・学科等	国語	地理	歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語											
	国語	世界史	日本史	地理	現代社会	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ・数学Ⅱ	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	物理	化学	生物	英語(リスニング)	フランス語	中国語	韓国語
総合科学部	社会総合科学科 【大学入学共通テスト(6)教科】	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会総合科学科 【大学入学共通テスト(3)教科】	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医学部	医学科	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	医科栄養学科	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	看護学専攻	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保健学科	放射線技術科学専攻	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 1 ① ◎印は必ず受験しなければならない科目、○印は選択科目を示します。
② □囲みの数字は成績利用科目数を示します。
2 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した（見込みを含む。）者に限ります。

推薦

学部・学科等		国語	地理	歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語														
		世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理	現代社会	倫理・政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	地学基礎	生物基礎	植物学	動物学	英語(英検Ⅰ)	ドイツ語	フランス語	韓国語	
医学部	保健学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	検査技術専攻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歯学部	歯学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	口腔保健学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薬学部	薬学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理工学部(圏)	理工学科 (数理科学コース 自然科学コース)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	理工学科 (社会基盤デザインコース 機械科学コース 応用化学システムコース 電気電子システムコース 知能情報コース 光システムコース)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生物資源産業学部	生物資源産業学科																							

(注) 1 ① ○印は必ず受験しなければならない科目、○印は選択科目を示します。
 ② □印みの数字は成績利用科目数を示します。
 2 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門学科及び専修学校の高等課程においてこれらの科目を履修した(見込みを含む。)者に限りです。

(7) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した場合は、他の国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することはできません。
 ただし、本学の学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない)に不合格となった者は、同一学科・専攻・コースを志望する場合に限り、本学の学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す)に出願することができます。
 また、国公立大学の学校推薦型選抜及び総合型選抜に合格した者は、当該大学・学部の定める方法により入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学の一般選抜等を受験しても合格者となりません。
- ② 学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す)に出願する者は、不合格となった場合に備えて、本学を含む国公立大学の一般選抜に出願することができます。
- ③ 出願書類等に不備がある場合は受理しません。また、受理後は記載事項の変更を認めません。
 なお、一度受理した出願書類及び領収した検定料は、5ページに該当する場合を除き、返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。

帰国生徒選抜

1 募集人員及び出願資格

学部名	学科・コース名	募集人員	出 願 資 格	
総合科学部	社会総合科学科	若干人	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を取得している外国籍者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者とともに海外に在留したことがあり（保護者が先に帰国した場合を含む。）、次のいずれかに該当する者となります。 (1) 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに修了した者若しくは修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもので、外国において最終の学年を含め2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者 (注) 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した期間については、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。 (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和3年又は令和4年に授与された者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和3年又は令和4年に取得した者	
歯学部	歯 学 科	若干人		
理工学部	理工学科 (昼間)	数理科学コース		若干人
		自然科学コース		若干人
		社会基盤デザインコース		若干人
		機械科学コース		若干人
		応用化学システムコース		若干人
		電気電子システムコース		若干人
	知能情報コース	若干人		
	光システムコース	若干人		

2 選 抜 方 法

入学者の選抜は、出願書類及び(1)①②の結果を総合して判定します。

(1) 選考方法

① 小論文

学部・学科	課題の出題言語
総合科学部 社会総合科学科	日本語
歯学部 歯学科	日本語及び英語
理工学部 理工学科(昼間)	

② 面接等

学部・学科	面接方法	基礎学力テスト
総合科学部 社会総合科学科	複数の面接担当者による個人面接	成績利用（提出された英語の外部テストの成績を利用します。） ●提出書類について 以下の試験等のいずれかの成績を証明する書類（出願時点において有効なもの。有効期限のないものは受験日が出願時点より2年以内であること。） 実用英語技能検定（CSE 2.0）、TOEFL(iBT)、TOEIC(L&R)、Cambridge English、IELTS
歯学部 歯学科		数学（数学Ⅰ・数学A程度） 理科（物理程度、化学程度、生物程度から2）※ } 筆記試験を実施
理工学部 理工学科(昼間)		

※歯学部の基礎学力テストの理科は、試験時間内に指定の科目数を選択し、解答してください。

(2) 試験実施日時及び場所

学部名	日	時	場 所
総合科学部	令和4年11月26日(土)	小論文 (日本語)	9:00~10:00
		面接	11:30~
歯学部 歯学科	令和4年11月25日(金)	小論文 (英語・日本語)	9:30~11:30
		基礎学力テスト	12:30~14:00
		面接	14:20~
理工学部 (昼間)	令和4年11月25日(金)	小論文	9:00~10:00
		英語	10:30~11:30
		日本語	13:00~
			総合科学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町1丁目1番地
			歯学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15
			理工学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町2丁目1番地

- (注) 1 試験開始30分前までに入室してください。
 2 1科目を受験しなかった者は、2科目目以降も受験できません。
 3 試験開始から終了まで退場は認めません。ただし、試験中の発病・用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

(3) 出願に際しての注意事項

- ① この選抜で出願することができるのは、本学が募集する学部・学科・専攻・コースのうち一つのみです。
 ② 出願書類等に不備がある場合は受理しません。また、受理後は記載事項の変更を認めません。
 なお、一度受理した出願書類及び領収した検定料は、5ページに該当する場合を除き、返還しません。
 ③ 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。

社会人選抜

1 募集人員及び出願資格

学部名	学科・専攻・コース名	募集人員	出 願 資 格
総合科学部	社会総合科学科	若干人	高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、令和5年3月31日までに22歳に達しており、社会人としての経験を通算5年以上有する者とします。 ※定時制又は通信制課程の学校(大学を含む。)の在学期間は社会人としての期間に含めます。
医学部	保健看護学専攻	若干人	高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、令和5年3月31日までに22歳に達しており、社会人としての経験を通算4年以上有する者とします。 ※定時制又は通信制課程の学校(大学を含む。)の在学期間は社会人としての期間に含めます。
理工学部	社会基盤デザインコース	若干人	高等学校を卒業した者又はそれと同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当する者とします。 (1) 事業所等の長の推薦を受けた者で、入学時に職務経験を通算1年以上有する者 (2) 令和5年3月31日までに21歳に達しており、社会人としての経験を通算3年以上有する者 ※定時制又は通信制課程の学校(大学を含む。)の在学期間は社会人としての期間に含めます。
	機械科学コース	若干人	
	応用化学システムコース	若干人	
	電気電子システムコース	若干人	
	理工学科(夜間主)	知能情報コース	若干人

- (注) 1 社会人選抜における「高等学校」には、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含みます。
 2 「高等学校を卒業した者」と同等以上の学力があると認める者」としての出願資格認定については、本学ホームページを参照又は入試課に照会してください。
 なお、本学が認定した出願資格は、本学に限り有効です。

2 選 抜 方 法

(1) 選抜方法

学部名	学科・専攻名	選 抜 方 法 等
総合科学部	社会総合科学科	総合科学部については、出願書類及びア～ウの結果を総合して判定します。 ア 小論文 一般教養及び当学部で勉学するのに十分な基礎的能力(論述能力、表現力等)を備えているかをみるため行います。 イ 面接 当学部で勉学する能力を有する人物であるかをみるため行います。 ウ 成績利用 以下の英語能力試験のうちいずれか一つの成績を用います。 実用英語技能検定(CSE2.0)、TOEFL(iBT)、TOEIC(L&R)、Cambridge English、IELTS

私費外国人留学生選抜

1 募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻 ・ コ ー ス 名	募 集 人 員	
総 合 科 学 部	社 会 総 合 科 学 科	若 干 人	
医 学 部	医 学 科	若 干 人	
	保 健 学 科	看 護 学 専 攻	若 干 人
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	若 干 人
	検 査 技 術 科 学 専 攻	若 干 人	
歯 学 部	歯 学 科	若 干 人	
業 学 部	業 学 科	若 干 人	
理 工 学 部	理 工 学 科 (昼 間)	数 理 科 学 コ ー ス	若 干 人
		自 然 科 学 コ ー ス	若 干 人
		社 会 基 盤 デ ザ イン コ ー ス	若 干 人
		機 械 科 学 コ ー ス	若 干 人
		応 用 化 学 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 人
		電 気 電 子 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 人
		知 能 情 報 コ ー ス	若 干 人
	光 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 人	
生 物 資 源 産 業 学 部	生 物 資 源 産 業 学 科	若 干 人	

2 出願資格

本学の私費外国人留学生選抜に出願できる者は、次の(1)(2)の要件を満たし、かつ(3)各学部の要件を満たしている者となります。

- 日本国籍を有しない者（日本国の永住許可を取得している者を除く。）で、次のいずれかに該当する者
 - 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を授けられた者
 - 外国においてドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格又はフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者
- 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

学部名	学科・専攻名	選 抜 方 法 等
医 学 部	保健学科看護学専攻	<p>医学部保健学科看護学専攻については、出願書類及びア〜ウの結果を総合して判定します。</p> <p>なお、医学部保健学科看護学専攻では、個別学力検査等（小論文、学力検査及び面接）におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合は、合計点のいかんにかかわらず不合格とします。</p> <p>ア 小論文 日本語及び英語で出題し、日本語による論述形式で行います。</p> <p>イ 学力検査（英語） 基礎学力をみるために行います。 なお、本学が用意する辞書の使用を認めます。</p> <p>ウ 面接等 複数の評価担当者による集団討論及び複数の面接担当者による個人面接を行います。評価にあたっては、複数項目について点数評価し、面接点として判定します。 ※志願者が極めて少ない場合は、評価担当者を含めた集団討論となる場合があります。</p>
理 工 学 部 (夜間主)	理 工 学 科	<p>理工学部（夜間主）については、出願書類及びアの結果を総合して判定します。</p> <p>ア 面接等 各コース複数の面接担当者による基礎学力（理工学科の入学するまでに身につけておくべき教科・科目等の内容を含む数学、英語及び理科等）に関する口頭試験を含む個人面接を行います。評価にあたっては、志望理由、理解力、表現力、適正等の項目について点数評価を行い、面接点として判定します。</p>

(2) 試験実施日時及び場所

学部名	日	時	場 所
総 合 科 学 部	令和4年11月26日(土)	小 論 文	9:00~10:00
		面 接	11:30~
医 学 部 保 健 学 科 看 護 学 専 攻	令和4年11月25日(金)	小 論 文	9:00~10:30
		学 力 検 査	11:00~12:00
		集 団 討 論 及 び 個 人 面 接	13:00~
理 工 学 部 (夜間主)	令和4年11月25日(金)	面 接	9:00~

- (注) 1 試験開始30分前までに入室してください。
 2 1科目を受験しなかった者は、2科目以降も受験できません。
 3 試験開始から終了まで退場は認めません。ただし、試験中の発病・用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

(3) 出願に際しての注意事項

- 出願書類等に不備がある場合は受理しません。また、受理後は記載事項の変更を認めません。
 なお、一度受理した出願書類及び領収した検定料は、5ページに該当する場合を除き、返還しません。
- 出願書類に虚偽の記載をした者及びその他不正な事実が判明した者については、入学後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。

(3) 各学部の要件

学部名	学科・コース名	要件	
総合科学部	社会総合科学科	① 独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース1） ・総合科目 ※ただし、総得点が平均点の85%以上 ② 次のいずれかの英語認定試験の成績を修めた者 ・公益財団法人日本英語検定協会実用英語技能検定（CSE2.0）1,700点以上 ・TOEIC（L & R）225点以上 ・TOEFL iBT 39点以上 ・IELTS 3.5以上 ・Cambridge English 120点以上	
医学部	医学科	① 独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（生物と「物理、化学から1」） ② TOEFLにおいて次の成績を修めた者 ・iBT80点以上	
	保健学科	看護学専攻	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース1） ・理科（物理、化学、生物から1） ※理科を2科目受験している場合は、高得点の科目を採用します。 ※ただし、各教科の得点が満点の70%（日本語の4領域のうち記述は33点）以上
		放射線技術科学専攻	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」） ※ただし、各教科の得点が満点の70%（日本語の4領域のうち記述は33点）以上
		検査技術科学専攻	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2） ※ただし、各教科の得点が満点の70%（日本語の4領域のうち記述は33点）以上
歯学部	歯学科	① 独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2） ② TOEFLにおいて次の成績を修めた者 ・iBT80点以上	

学部名	学科・コース名	要件	
薬学部	薬学科	① 独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（化学と「物理、生物から1」） ② TOEFLにおいて次の成績を修めた者 ・iBT80点以上	
理工学部	理工学科（昼間）	数理科学コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2）
		自然科学コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理、化学、生物から2）
		社会基盤デザインコース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		機械科学コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		電気電子システムコース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
		応用化学システムコース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（化学と「物理、生物から1」）
		知能情報コース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）
	光システムコース	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：指定なし ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（物理と「化学、生物から1」）	
生物資源産業学部	生物資源産業学科	独立行政法人日本学生支援機構が令和4年度に実施する日本留学試験において下記教科・科目を受験した者であり、日本語を理解できる者 出題言語：日本語 ・日本語 ・数学（コース2） ・理科（化学と「物理、生物から1」）	

(注) 1 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校を含む。）を卒業した者は、この選抜に出願することはできません。

2 令和4年度第1回（6月実施）又は第2回（11月実施）のいずれか一方で、上記のとおり指定する日本留学試験の教科・科目を、すべて受験してください。両方の試験に分けての受験結果は認めません。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和4年度日本留学試験の成績並びに各学部が課す学力検査、小論文、面接及び書類審査の結果を総合して判定します。

なお、受験生は、各学部の試験日及び指定する場所において受験する必要があります。試験当日に来学できない場合は受験できません。

(1) 学力検査等

① 個別学力検査又は成績利用の教科・科目等

学部・学科等		選抜方法	個別学力検査又は成績利用	教科・科目等	小論文	面接
総合科学部	社会総合科学科	成績利用	成績利用	英語能力試験(実用英語技能検定(CSE 2.0), TOEFL(iBT), TOEIC(L&R), Cambridge English, IELTS)の成績	○	○
医学部	医 学 科	個別学力検査	個別学力検査	英語(「コミュニケーション英語Ⅰ」,「コミュニケーション英語Ⅱ」,「コミュニケーション英語Ⅲ」,「英語表現Ⅰ」,「英語表現Ⅱ」)* 数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B)	/	○
		成績利用	成績利用	TOEFLの成績	/	○
	保健学 放射線技術科学専攻	成績利用	成績利用	TOEFLの成績	○	○
		個別学力検査	個別学力検査	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理科(物理基礎・物理)	/	○
検査技術科学専攻	個別学力検査	個別学力検査	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理科(化学基礎・化学)	/	○	
	成績利用	成績利用	TOEFLの成績	/	○	
歯学部	歯 学 科	個別学力検査	個別学力検査	英語(「コミュニケーション英語Ⅰ」,「コミュニケーション英語Ⅱ」,「コミュニケーション英語Ⅲ」,「英語表現Ⅰ」,「英語表現Ⅱ」)* 数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1)	/	○
		成績利用	成績利用	TOEFLの成績	/	○
薬学部	薬 学 科	個別学力検査	個別学力検査	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理科(化学基礎・化学)	/	○
		成績利用	成績利用	TOEFLの成績	/	○
理工学部	理 工 学 科	成績利用	成績利用	TOEFLの成績	○	○
生物資源産業学部	生 物 資 源 産 業 学 科	成績利用	成績利用	TOEFLの成績	○	○

※「読むこと」、「書くこと」の技能に関する出題を行います。

(注) 1 個別学力検査問題の出題及び解答用紙の表記は、日本語で行います。

2 医学部、歯学部及び薬学部の個別学力検査は、本学一般選抜の前期日程の個別学力検査問題を課します。

3 歯学部では、出願時に選択した個別学力検査「理科」の科目について、出願後の変更は認めません。

なお、科目選択による不公平が生じないように得点調整を行うことがあります。

② 学力検査等の選抜基準等

学部・学科等		選抜基準										
総合科学部		日本留学試験の総得点が平均点の85%未満である場合は、合格者となり得ません。										
医学部	医 学 科	TOEFLの得点はiBT80点未満の場合は、合格者となり得ません。										
	保健学 放射線技術科学専攻	個別学力検査	日本留学試験で理科を2科目受験している場合は、高得点の科目を採用します。									
		検査技術科学専攻	日本留学試験における各教科の得点が満点の70%(日本語の4領域のうち記述は33点)未満の場合は、合格者となり得ません。									
歯学部	歯 学 科	TOEFLの得点はiBT80点未満の場合は、合格者となり得ません。										
薬学部	薬 学 科	TOEFLの得点はiBT80点未満の場合は、合格者となり得ません。										
理工学部	理 工 学 科	各コースの面接では、次のとおり評価を行います。										
		<table border="1"> <tr> <td>数理科学コース 自然科学コース</td> <td>社会基礎デザインコース</td> <td>機械科学コース</td> <td>応用化学システムコース</td> <td>電気電子システムコース</td> <td>知能情報コース 光システムコース</td> </tr> <tr> <td>志望理由、勉学意欲、理解力を問う質問を行い、総合的に評価する。</td> <td>日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。</td> <td>日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。</td> <td>志望理由等について質問を行い、本コースへの適性、学修に必要な基礎的知識等を総合的に評価する。</td> <td>志望理由、数学、日本語、英語等により、本コースへの適性を総合的に評価する。</td> <td>志望理由、数学、英語等の質問を行い、本コースへの適性を総合的に評価する。</td> </tr> </table>	数理科学コース 自然科学コース	社会基礎デザインコース	機械科学コース	応用化学システムコース	電気電子システムコース	知能情報コース 光システムコース	志望理由、勉学意欲、理解力を問う質問を行い、総合的に評価する。	日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。	日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。	志望理由等について質問を行い、本コースへの適性、学修に必要な基礎的知識等を総合的に評価する。
数理科学コース 自然科学コース	社会基礎デザインコース	機械科学コース	応用化学システムコース	電気電子システムコース	知能情報コース 光システムコース							
志望理由、勉学意欲、理解力を問う質問を行い、総合的に評価する。	日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。	日本語で志望理由や数学等の質問を行い、総合的に評価する。	志望理由等について質問を行い、本コースへの適性、学修に必要な基礎的知識等を総合的に評価する。	志望理由、数学、日本語、英語等により、本コースへの適性を総合的に評価する。	志望理由、数学、英語等の質問を行い、本コースへの適性を総合的に評価する。							
生物資源産業学部	生 物 資 源 産 業 学 科	面接では、志望理由、勉学意欲、理解力を問う質問を行い、総合的に評価を行います。										

(2) 試験実施日時及び場所

学部名	日	時	場 所		
総合科学部	令和5年2月11日(土)	小論文	10:30~11:30		
		面接	13:00~		
総合科学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町1丁目1番地					
医学部	医 学 科	数 学	令和5年2月25日(土)	9:30~11:30	
			英 語	13:00~14:10	
	保健学 看護学専攻	小論文	令和5年2月25日(土)	9:00~10:00	
			面接	13:00~	
	放射線技術科学専攻	数 学	令和5年2月25日(土)	9:30~11:30	
			理 科	13:50~15:20	
		検査技術科学専攻	数 学	令和5年2月25日(土)	9:30~11:30
				理 科	13:50~15:20
	医学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15				
	歯 学 部	令和5年2月25日(土)	数 学	9:30~11:30	
英 語			13:00~14:10		
理 科			15:00~16:30		
歯学部(蔵本キャンパス) 徳島市蔵本町3丁目18番地の15					
薬 学 部	令和5年2月25日(土)	数 学	9:30~11:30		
		理 科	13:50~15:20		
総合科学部(常三島キャンパス) 徳島市南常三島町1丁目1番地					

私費外国人

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

学部名	日	時	場 所
理 工 学 部	令和5年2月17日(金)	小論文	9:00~10:30
		面接	11:00~
生物資源産業学部	令和5年2月11日(土)	小論文	9:00~10:30
		面接	11:00~

- (注) 1 試験開始後20分以上経過した遅刻者は、受験できません。
 2 試験開始から終了まで退出は認めません。ただし、試験中の発病・用便等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
 3 受験に際しては、出願時に提出した日本留学試験の受験票（原本）が必要ですので、試験当日に必ず持参してください。
 4 試験開始30分前までに入室してください。
 5 1科目目を受験しなかった者は、2科目目を降も受験できません。

全学の受入方針

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）*及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）*のもと、卓越した学術及び文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもって、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ① 高等学校等時に、真摯な態度で学習や多様な活動に意欲をもって取り組み、大学入学後も他の学生・教職員とともに切磋琢磨しながら、学び続ける意志をもつ人
 [求める要素：関心・意欲・態度、協働性]
- ② 多様な情報に関心をもち続け、自らの自由な発想でその真偽と活用を主体的に判断しようとする人
 [求める要素：関心・意欲・態度、思考力・判断力、主体性、応用力]
- ③ 本学の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき文科系・理科系に渡る知識・教養のもと、思考を深めて相手に表現できる人
 [求める要素：知識・教養、思考力・判断力、表現力]
- ④ 自律して社会や地域の諸問題に意欲をもって立ち向かい、その課題解決を深く掘り下げて伝えようとする人
 [求める要素：関心・意欲・態度、探究力、表現力]
- ⑤ 他者の意見を真摯に受けとめ、協働して国際社会や地域社会の発展のために貢献しようとする人
 [求める要素：協働性、幅広い視野、創造性]

*学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページの下記 URL にてご覧いただけます。
https://www.tokushima-u.ac.jp/about/information/education_announce/

各学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）について ※必ずお読みください。

本学では、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を具体的に示しています。すべての学部、学科（専攻）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記的全項目によって成り立っています。入学を希望される方は、各選抜区分（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）における実施教科・科目等と同時に、全項目をしっかりと理解しておいてください。

- 各学部、学科（専攻）でどのような人物を育成するか。
- 求める人物像 [高等学校等で修得すべき具体的な内容を含む]
 入学者に求める能力や資質（学力の3要素*を含めたもの）は何か。
- 入学者選抜の基本方針
 各々の入学者選抜（一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜）でどのような力を評価するか。
- 入学者選抜方法における選抜内容^(注1)
 各々の入学者選抜でどのような評価方法を活用するか、またその内容は何か。
- 入学者選抜方法における重点評価項目 [入学者選抜方法と求める人物像との関係性]^(注2)
 各々の入学者選抜方法でどのような力に比重を置くか。

(注1) 大学入学共通テスト、個別学力検査等で課す教科・科目等の詳細は該当ページを必ず確認してください。「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」では、紙幅の都合上、大学入学共通テストと個別学力検査（教科に関するもの）の具体的な教科・科目を省略しています。

(注2) ○印を付している項目（求める人物像）は各入学者選抜方法で重点的に評価することを意味します。○印を付していない項目（求める人物像）を全く評価しないということではありません。また、各々の入学者選抜方法に複数の該当選抜区分を記載しているものがありますが、これは、○印の具体的な評価内容がすべて一律であることを意味するものではありません。

※学力の3要素

- ・知識・技能の確実な習得
- ・知識・技能を基にした思考力、判断力、表現力
- ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

総合科学部

■社会総合科学科

人文・人間・社会・地域・情報等の諸科学における専門知識や専門技能、技術を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的としています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

グローバル化、少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの社会的課題や地域課題に関心をもち、総合的な視点から問題解決を志向しようとする人。人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報メディアの分野に関心をもつ人。21世紀型社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもつ人

表 現 力

自分が伝えたいことを的確な表現を用いて相手に示すことのできる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき[※]理系も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国 語—文化・社会の理解に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

英 語—グローバル化社会に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

地歴・公民—日本を含む世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎知識

数学、理科—理系分野の基礎的内容を理解し、論理的に考える力

●入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストでは「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）〈活動実績重視型〉

書類審査で高等学校等時代での部活動、校外活動、芸術及びスポーツなどのいずれかの分野ですぐれた実績を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、面接では前述の実績をもとにしたリーダーの存在となりうる資質と本学部の教育分野への強い関心と積極性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない）〈英語能力重視型〉

書類審査で英語のすぐれた能力、異文化理解能力を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、英語及び日本語での面接では英語のスピーチや会話によって英語の運用能力に関わる「関心・意欲・態度」「表現力」を評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す：5(6)教科型）〈主体性・表現力重視型〉

大学入学共通テスト5(6)教科型（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の採点方式で、広範囲にわたり習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を、面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

学校推薦型選抜Ⅳ（大学入学共通テストを課す：3教科型）〈主体性・表現力重視型〉

大学入学共通テスト3教科型（国語、外国語、地歴・公民、数学）の採点方式で、いずれかの科目で高く習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。面接では、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から、積極性、思考態度、専攻希望領域への意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について評価し、以上を総合して選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分*	選 抜 内 容
小論文	一般（後期） 推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	【一般（後期）】 社会的な課題に関する基礎的な能力（関心、理解力、表現力）を判定する。 【推薦Ⅰ】 本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力（論述能力、表現力等）を判定する。
集団面接	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行い、提出書類などの確認を行う場合がある。
個人面接（スピーチ等含む）	推薦Ⅰ（英語）	「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	本学部に対する志望動機、本学部の教育分野に対する強い関心、専攻したい領域に対する強い意欲について、高等学校の生活等の状況を踏まえて、評価する。
指定調査書	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	活動実績重視型では、志望理由および高等学校等での教科外活動状況（部活動・生徒会活動・校外活動、大会・競技会・展覧会等での成績等及び資格・免許等）を評価する。英語能力重視型では、志望理由と英語で記入した課題作文を評価する。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

* 該当選抜区分内の「（活動）」は「活動実績重視型」、「（英語）」は「英語能力重視型」、「(5)」は「5(6)教科型」、「(3)」は「3教科型」を示す。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)			○		○
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）		○	○		○
小論文	一般（後期） 推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	○	○			○
集団面接	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	○	○			
個人面接 (スピーチ等含む)	推薦Ⅰ（英語）	○	○			
志望理由書	推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	○				○
指定調査書	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	○		○		○
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)			（総合判定の参考）		
		○				○

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医学科

医学科では、基本的な臨床能力及び基礎的な医学研究能力を備え、生涯にわたり医療、教育、保健・福祉活動を通じて社会に貢献し、医学の発展に寄与することができる人材を養成することをめざしています。そのため、医学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

医学と生命科学に強い関心があり、自らを振り返りながら生涯学び続ける意欲があり、謙虚な態度で病める人に寄り添い、医学や医療の課題に真摯かつ熱心に対応できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

これまでに獲得した知識や教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

主体性

自分の意志と判断で社会や地域に対して責任をもって行動できる人

協働性

問題解決のために、国籍や日本における各地域、世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—基礎的知識・技法と数学的思考法

理 科—物理・化学・生物の基礎的な知識と科学的な自然観・探究心。なお、合格者は、大学入学後に備えて、大学受験における未選択科目の基礎的な知識を再確認しておくこと。

国語・英語—地域社会や国際的分野において医療人として活躍するための基礎的なコミュニケーション能力、読解力、思考力

地歴—公民—将来、医療人として活躍するために必要な常識的な知識や素養

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」をあわせて評価します。学力とともに、生涯にわたり社会に貢献し、医学の発展に寄与する医療人へ成長できる人を総合的に選抜します。

総合型選抜（大学入学共通テストを課す）＜四国研究医型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験ではこれらに加え、「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」「協働性」を評価します。四国研究医型は、四国地区の環境や生活に関心をもちつつ、地域に貢献し、国際性と研究能力を兼ね備えた医師をめざす者を積極的に受入れることとしています。本学科における入学者の多様性は極めて重要です。本学科の資源を最大限に活用し、他の選抜区分で入学する学生の模範となる人物を求めます。よって、医療を通じて四国地区、そして世界に貢献する複合的な視点をもって活躍するリーダー性、そして医学科で学ぶために必要不可欠な資質を深く評価することを目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜適性と学力重視型（一般枠・地域枠）＞

大学入学共通テストでは「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では２段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「思考力・判断力」「主体性」「協働性」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します（一般枠、地域枠共通）。地域枠は、「主体性」の評価を綿密に行います。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合討論	総合型	総合討論（集団討論に加え、小論文形式の出題やレポート作成を組み合わせた選抜）は下記の手順で実施する。 ①（小論文形式）日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。 ②（集団討論）①の解答終了後に出題内容の中の題材による集団討論を行う。 ③（まとめレポート）②の終了時に討論のまとめに関する簡単なレポート作成を行う。
個人面接	総合型 推薦Ⅱ（地域枠）	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【総合型】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合格を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。 【推薦Ⅱ（地域枠）】 地域医療に対して責任を持って行動できる主体性等について評価する。
集団討論	推薦Ⅱ	複数の面接担当者による集団討論を行う。
集団面接	一般（前期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による集団面接を行う。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合格を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
活動報告書	総合型	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考に評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 総合型 推薦Ⅱ	【一般（前期）】面接の参考資料とする。 【総合型・推薦Ⅱ】アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ	医学部医学科を志望する理由・動機、入学後に学びたいこと及び将来への抱負を400字程度で具体的に記述して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦状	推薦Ⅱ	志願者のスポーツ、文化活動、ボランティア活動又は国際交流等の課外活動の指導者など、直接志願者をよく知っている成人が、推薦理由、課外活動、活動成果、人物（協調性、指導性、忍耐力、責任感など）、その他について記載して提出する。推薦状の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性
共通テスト	一般（前期） 総合型 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○			
総合討論	総合型				○		○
個人面接	総合型 推薦Ⅱ（地域枠）	○			○	○	
集団討論	推薦Ⅱ			○	○	○	○
集団面接	一般（前期） 推薦Ⅱ	○			○		
活動報告書	総合型	○				○	○
調査書	一般（前期） 総合型 推薦Ⅱ						
志望理由書	総合型 推薦Ⅱ						
推薦状	推薦Ⅱ						

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■医科栄養学科

『食律生命』の理念のもとに、医学と連携した医科栄養学を通して、高度化する医療と人々の食生活の改善・健康の維持増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

栄養学・医学に強い関心があり、医科栄養学を生涯にわたり学ぶ目標をもつ人

知識・教養

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

思考力・判断力

幅広い視野と柔軟な感性を有し、今までの知識・教養のもとに思考を深めて適切に判断できる人

表現力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

探究力

自分が関心をもったことを深く掘り下げ、その中から新たな課題を発見できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－医学・栄養学の専門的な論文を将来読み、理解できるための読解力と表現力、コミュニケーション能力

数 学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解、また計算力と論理的な思考力

理 科－自然科学を理解する基礎学力と科学的な自然観・探究心

国 語－様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民－将来、良識ある社会人として必要な基本的知識と素養

そ の 他－食生活や医療に対する関心をもち、理論的に科学を思考する能力と姿勢

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。国内のみならず国際的な視野をもつ人物を求めるため、英語能力に重点を置くとともに、自律的な学びを継続させ実践できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）＜主体性重視型＞

個別試験で「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「知識・教養」をあわせて総合的に評価します。学校推薦型選抜Ⅰでは、医科栄養学研究に対して、高い主体性をもって行動できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性と学力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」「探究力」「思考力・判断力」をあわせて評価します。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
基礎学力考査	推薦Ⅰ	【英語】「数学（数Ⅲを除く。）」の基礎学力の確認（記述式）を行い、高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定する。
集団討論	推薦Ⅰ	複数の評価担当者による集団討論を行う。
個人面接	一般（前期）	複数の面接担当者による個人面接を行う。
	推薦Ⅰ	【推薦Ⅰ】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、基礎学力考査及び書類審査、集団討論の成績にかかわらず不合格となることがある。
	推薦Ⅱ	【推薦Ⅱ・一般（前期）】 本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、合否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	医学部医科栄養学科に志望した動機、理由、入学後の希望等について、詳細に記入して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	知識・教養	思考力・判断力	表現力	探究力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ		○	○			
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○	○		
基礎学力考査	推薦Ⅰ		○	○			
集団討論	推薦Ⅰ			○	○		○
	一般（前期）	○			○		○
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○		○	○	○	
個人面接	一般（前期）						
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○		○	○	○	
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○		○	○	○	
調査書	一般（前期）						
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○					○
	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ						
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ						

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆看護学専攻

国際化、高度化する医療の発展を支える看護学の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を備えるとともに、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい潜在的資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

看護への志向性をもち、人間、生命、健康、医療、環境に強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の将来像について明確な目標をもっている人

協働性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

理解力・表現力

他者の思いや状況を理解し、自分の考えを適切に表現し伝えることができる人

知識・教養

保健・医療・福祉など専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*文科系・理科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

高等学校で身につけた知識・教養をもとに、論理的な思考によって物事を判断し、課題を解決しようとする人

幅広い視野

自分たちが住む地域の保健医療や日常生活に関心を向け、国際的な視野をもちながら多角的に物事をとらえることができる人

*高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文章を正しく理解する能力と自分の考えを適切に表現するための作文能力

地歴—公民—基礎学力を有し、社会と人の生活を関連づけて考える姿勢と能力

数学—基本的な知識と計算力及び論理的に思考する能力

理科—自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では、これらに加えて「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」も評価します。看護への志向性等を踏まえ、より深い知識とともに、思考をめぐらせて表現できる人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では、これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では、これらに加えて「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」「幅広い視野」を評価します。高等学校等段階における看護に対する関心や意欲などを重視し、協働性をもった人を総合的に選抜します。

(注)本専攻では、各選抜で実施する個別学力検査等におけるいずれかの得点が一定水準以下の場合、合計点のいかににかかわらず不合格とします。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。試験室で提示されたテーマをもとに討論を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	推薦Ⅱ	本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、300～400字で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	協働性	理解力・表現力	知識・教養	思考力・判断力	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）				○	○	
小論文	一般（後期）			○		○	○
集団討論	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○		○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				（面接の参考）		
志望理由書	推薦Ⅱ	○					○
					（面接の参考）		

医 学 部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆放射線技術科学専攻

先進的な放射線科学を修得するために必要な理数系の基礎学力に優れ、医学に対する幅広い知識の修得を積極的に行い、医療人としての豊かな人間性とチームワーク精神を自ら高め、診療放射線技師資格取得をめざす明確な目的意識をもった、医療の発展に寄与できる資質を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

放射線科学、生命、健康、医療に対する強い関心とそれらを学ぶ意欲があり、自己の能力を高めるための努力を惜しまない人

思考力・判断力・表現力

論理的な思考によって物事を理解し、適切な判断ができ、相手の視点に立って表現できる人

応 用 力

将来の技術革新に対応できる人

協 働 性

お互いの立場や考えを尊重して良好な人間関係を築くことができる人

知識・教養

本専攻の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

幅広い視野

国際的な視点から地域社会の視点に至るまで、幅広い視野で課題の解決に取り組める人

*高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解、計算力及び論理的に思考する能力

理 科—「物理基礎」、「物理」における内容の理解、自然科学を理解する基礎学力と科学的に思考する能力

外国語、国語—基礎的な読解力・作文力・コミュニケーション能力

地 歴・公 民—将来、地域や国際社会で医療人として、また、良識をもった人間として活躍するために必要な知識や素養

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「関心・意欲・態度」「表現力」「応用力」「協働性」「幅広い視野」も評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、豊かな人間性とともに論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「思考力・判断力・表現力」「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を総合的に評価します。知識のみならず、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性重視型＞

大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価し、個別試験では、「関心・意欲・態度」「協働性」「幅広い視野」「思考力・判断力・表現力」を総合的に評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心などを重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	保健・医療に関する文章や図表等をもとに論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。なお、本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。 【一般（後期）】 アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。 【推薦Ⅱ】 本専攻が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
志望理由書	推薦Ⅱ	本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 面接の参考資料とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況を踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	思考力・判断力	応用力	協働性	知識・教養	幅広い視野
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ		○			○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）		○	○		○	
小論文	一般（後期）	○	○	○			○
集団面接	一般（前期）	○	○		○		○
個人面接	一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○		○		○
調査書	一般（前期） 一般（後期）				(面接の参考)		
	推薦Ⅱ	○			○		○
志望理由書	推薦Ⅱ				(面接の参考)		

医学部

高い責任感、倫理観、ならびに生涯学び続ける意志をもち、国際性と研究能力を兼ね備えながら、基礎から臨床までの幅広い知識・技能を基盤として医療を実践できる医療人へ成長できる人を求めています。

■保健学科

保健・医療・福祉の分野において、人間尊重の倫理に立脚した高い使命感をもち、高度の専門知識・技術を基に、チーム医療、地域医療及び国際的な医療支援に貢献できる人を求めています。

◆検査技術科学専攻

医学ならびに医療に対する関心が高く、国際的な視野と豊かな人間性をもち、医療人として臨床検査技術を身につけ、応用できる能力を育成するために必要な学力を有する人を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

生命科学や医学、医療に強い関心があり、自分で明確な目標をもって意欲的に学習に取り組める人

探究力

好奇心旺盛で、自分の興味があることについて徹底的に探究しようとする人

表現力

集団の中で自分の意見をはっきりと伝えることができる人

知識・教養

高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識・教養をもつ人

思考力・判断力

自分のもっている知識や教養をもとに考慮して、客観的に適切な判断ができる人

協働性

問題解決のために対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科—[化学]、[生物]及び[物理]の幅広い知識と科学的な探究心

数学—[数学Ⅰ]、[数学Ⅱ]、[数学Ⅲ]、[数学A]、[数学B]における内容の理解、基本的な概念や原理・法則を理解する能力と数学的な思考力

外国語、国語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力・読解力

地歴・公民—将来、良識ある社会人として地域で活躍するために必要な基本的な知識と素養

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では深い思考力や幅広い知識、さらに当専攻への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「探究力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
集団面接	推薦Ⅱ	複数の面接担当者が集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行う。提出書類などの内容を確認する場合がある。
志望理由書	一般（前期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 本専攻への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、400字以内で簡潔に「志望理由書」を作成して提出する。調査書及び「志望理由書」を参考にしつつ、アドミッション・ポリシーに基づいて総合的に評価を行い、可否を判定する。 【推薦Ⅱ】 本専攻への志望理由について、これまで学んできた環境や関心事などを考慮して、400字以内で簡潔に作成して、提出する。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。
調査書	一般（前期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）				○	○	
集団面接	推薦Ⅱ	○	○	○			○
調査書	一般（前期） 推薦Ⅱ				（総合判定の参考）		
志望理由書	一般（前期） 推薦Ⅱ	○	○				○
					（総合判定の参考）		
					（面接の参考）		

歯学部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■歯学科

生命科学に興味と情熱をもち、人間的な優しさをそなえた歯科医師・歯学研究者をめざす、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・患者の立場を理解できる豊かな人間性をもつ人
- ・歯科医療の発展への情熱をもち、生涯にわたって貢献しようと考えている人
- ・歯科医療で国際的な活動をしたいと思っている人
- ・歯科医学に関係する研究に関心をもち、新しい発見や治療法の開発に貢献したいと思っている人

表現力

自分の意見や考えを相手に伝えることができる人

知識・教養

本学科で歯科医学を学び、生涯にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる基礎的な知識と教養をもつ人

思考力・判断力

広い視野と論理的思考をもって行動できる人

協働性

オープンマインドな姿勢で他者と協力して課題に取り組める人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語、国語—新聞や書籍（英文も含む）等を積極的に熟読し、読解力や論理的思考力を身につける。

理科—理科は化学、物理および生物の知識がすべて必要となり、大学受験で選択した以外の理科の科目についても修得が必要です。合格者には、入試で選択しなかった科目を学習してもらうため、入学までに取り組むべき課題を提供する予定です。

数学—高等学校等で履修した数学を再確認し、数学的思考ができるようにする。

地歴・公民—社会全般（高校で履修しなかった教科も含む）にわたって興味をもち、世界的視点から日本の文化、思想、制度、歴史及び地理について考察できるようにしておく。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・教養」「関心・意欲・態度」「協働性」「表現力」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に評価し選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価し、「関心・意欲・態度」「表現力」を合わせて評価します。優れた思考力に基づいてみずから課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では2段階に渡って「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における多様な能力、歯科医学に対する高い関心・適応性、意欲等を重視し、それを深く表現できると同時に、協働性に富む人を総合的に評価し選抜します。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	日本語及び英語で書かれた文章や図表等をもとに、現代の社会における諸問題について考察し、みずからの考えを表現する出題を行う。
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることもある。
集団討論	推薦Ⅱ	提示されるテーマ（医療や健康に関する現代の社会の諸問題）に関して討論を行い、結論を導く。その過程を複数の担当者により評価する。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団討論では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることもある。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ	本学科への志望理由について、今までの学生生活等の状況を踏まえて、800字程度で作成して提出する。参考資料として面接時の評価にも用いる。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期）			○	○	
小論文	一般（後期）	○	○			○
個人面接	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ	○	○			○
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			（総合判定の参考）		
志望理由書	推薦Ⅱ			（面接の参考）		

歯学部

豊かな人間性を基盤として、医療・保健・福祉を通して健康長寿の推進への情熱と、教育・研究を通して人類の知を発展させる意欲にあふれた人材に成長できる人物を求めています。

■口腔保健学科

人間的な優しさをもち、口腔保健及び福祉の専門知識と技能を身につけ健康長寿の推進に貢献できる、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

- ・学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- ・歯や口の健康に興味をもち、歯科の病気の予防に貢献したいと考える人
- ・高齢者や障害者などに関する現代社会・地域社会の諸問題を見据え、その解決に貢献したいと考える人

表現力

自分の考えや意見を論理的に説明できる人

知識・教養

本学科の専門分野を学び、将来にわたって学びを継続するために、高等学校等で修得すべき*全領域の科目にわたる知識・教養をバランスよくもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

チーム医療における問題解決のために、職種や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

*高等学校等で修得すべき具体的な内容

英 語－基礎的なコミュニケーション能力や読解力を身につけておく。

理 科－理科の学習を通じて自然科学に深い関心をもち、その基礎的な考え方を身につけておく。

国 語－国語の学習を通じて、現代人としての常識的な知識とともに、日本語による論理的な記述力やコミュニケーション能力を身につけておく。

数 学－単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と応用力を身につけておく。

地歴・公民－地歴・公民に広く関心をもち、多様な価値観や世界観、考え方があることを理解しておく。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では「思考力・判断力」「知識・教養」「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や、自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価します。個別試験では個人面接を行い、口腔保健に対する「関心」や「意欲」、さらには「協働性」を評価し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜主体性・表現力重視型＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階に渡って「関心・意欲・態度」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を重点的に評価します。高等学校等段階における多様な能力、口腔保健に対する「関心」や「意欲」を重視し、それを深く表現できると同時に協働性に富む人を総合的に評価し選抜します。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
個人面接	一般（前期）	複数の面接担当者による個人面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、個人面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
	一般（後期）	
	推薦Ⅱ	
集団討論	推薦Ⅱ	複数の評価担当者による集団討論を行う。提示されたテーマをもとに討論を行う。
活動報告書	推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期）	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ】 面接の参考とする。
	一般（後期）	
	推薦Ⅱ	
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
共通テスト	一般（前期）			○	○	
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ					
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期）			○	○	
	一般（後期）					
個人面接	一般（前期）	○	○			○
	一般（後期）					
推薦Ⅱ						
集団討論	推薦Ⅱ		○		○	○
活動報告書	推薦Ⅱ	○				
調査書	一般（前期）					(総合判定の参考)
	一般（後期）					
	推薦Ⅱ					(面接の参考)

薬学部

■薬学科

薬学を基盤とし、薬剤師・研究者・教育者として、薬物療法・医薬品創製およびそれに資する科学全体の向上に、情熱・倫理観・使命感をもって貢献できる人材を求めています。薬学部教育方針は、多様な薬学分野を基盤とした幅広い知識と技能を身につけ、薬学を含む種々の職能領域と相互連携しうる能力をもち、自ら活躍できる場を積極的に開拓できる可能性をもった人材（インタラクティブ YAKUGAKUJIN）を育成することです。したがって、既成概念にとらわれない柔軟な思考能力をもち、向学心に満ち、末路分野の開拓精神に溢れた人材を募集します。

●求める人物像

関心・意欲・態度

薬学にかかわる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、自ら末路分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

探究力

自分が関心をもったことを深く掘り下げて探究し、その中から新たな問題・課題を発見できる人

表現力

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の立場に配慮して表現できる人

知識・教養

薬学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき基礎的かつ広範な知識や教養を有する人

思考力・判断力

修得した知識・教養・技能を基盤に、思考を深化・展開させ、科学的エビデンスに基づいて未知の課題に対して適切な解を判断できる素養を有する人

協働性

多職種の人と協働して活躍できる素養を有する人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科—化学および基礎的な物理・生物の知識

数学—理数数学についての基本的な知識・技能と論理的思考法

英語、国語—基礎的な読解力・表現力・発信力・コミュニケーション能力

その他—将来、薬剤師・研究者・教育者として活躍するためには、上記以外の科目もあるおにせせず、また部活やボランティア等、様々な活動に積極的に取り組むことで、幅広い視野と高い倫理観、豊かな人間性を育ててもらいたい。

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を基盤に柔軟な科学的思考のできる人を求めるとともに、豊かな人間性と倫理観のある人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。幅広い知識を持ち、化学の学力が顕著な人を求めます。本学部の教育方針への理解・学ぶ意欲等を深く評価するため集団面接と志望理由書を課し総合的に選抜します。学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜創薬研究者育成型（長井枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、日本薬学の開祖である長井長義博士の進言により、「薬の創製（創薬）」を目的として設立されました。したがって「薬の創製（創薬）」に伝統をもち、創薬研究者を育成する環境を有することに強みがあります。創薬研究者育成型（長井枠）は、創薬に強い関心を示すとともに、高等学校等時に意欲的に取り組んだ主体的な活動を活かし世界に通用する創薬研究者をめざす人を求めます。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）＜先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）＞

大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、「関心・意欲・態度」「探究力」「表現力」「思考力・判断力」「協働性」を評価します。徳島大学薬学部は、世界に通用する創薬研究者・高度医療薬剤師の育成に加えて、地域医療を担う薬剤師の育成機能を有しています。先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）は、薬剤師の不足する地域の医療を担う薬剤師のリーダーとして社会に貢献する人を求め、世界と地方を繋ぐ多様な入学者の受け入れを行います。

※本選抜はいわゆる「地域枠」ではありません。

●入学選抜方法における選抜内容

入学選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
論述レポート	推薦Ⅱ（長）	薬学に関連する講義を聞き、論述形式のレポートを作成する（全て日本語）。
小論文	推薦Ⅱ（地）	日本語で書かれた文章や図表等により、記述・論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期） 一般（後期）	複数の面接担当者による集団面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。本学科が真に求める入学者を選抜することを踏まえ、集団面接では、アドミッション・ポリシーへの適合性などについて評価を行い、可否を判定する。従って、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格となることがある。
個人面接	推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）	アドミッション・ポリシーに基づいて複数の面接担当者により個人面接を行う。提出書類や論述レポートもしくは小論文の内容の確認を行う場合がある。
志望理由書	一般（後期）	当学科への志望理由について、これまでの学生生活等の状況を踏まえて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。アドミッション・ポリシーに基づいて評価を行い、可否を判定する。
学びの設計書	推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）	【長井枠】 大学入学から大学院を経て創薬研究者までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。 【地方貢献枠】 大学入学から大学院を経て地方もしくは薬剤師の不足する地域に貢献する薬剤師までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野とその理由を含めて、800字から1,000字で簡潔に記述して提出する。面接時に参考資料として用いる。
活動報告書	推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」「資格・検定等（参考）」を評価する。 ※作成方法については、「活動報告書」作成要領を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅱ（長井枠）（地方貢献枠）】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）				○	○	
個別学力検査 ＜教科＞	一般（前期） 一般（後期）			○	○	○	
論述レポート	推薦Ⅱ（長）		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅱ（地）			○		○	
集団面接	一般（前期） 一般（後期）	○		○			○
個人面接	推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）	○	○	○			○
志望理由書	一般（後期）	○					
学びの設計書	推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）		○	○			
活動報告書	推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）	○	○				
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ（長） 推薦Ⅱ（地）				（総合判定の参考）		
		○					○

※該当選抜区分内の「（長）」は「創薬研究者育成型（長井枠）」、「（地）」は「先導的地域医療薬剤師育成型（地方貢献枠）」を示す。

理工学部

■理工学科

自ら課題を探究し、未知の問題に対して俯瞰的視野から総合的な判断を下すことができる能力を兼ね備え、科学技術のイノベーションに柔軟に対応しながらグローバルに活躍できる理工系人材を養成します。そのため、理工学部理工学科では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

科学技術の両輪となる理学と工学を融合した理工学の各専門分野に強い関心と学びに対する意欲があり、明確な目標をもっている人

表現力

自分が伝えたいことを相手に表現できる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき[※]理科系・文科系にわたる基礎的な知識や教養をもつ人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

主体性・創造性・協働性

多様な経験をもとに、主体的に創造性豊かな発想ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力

理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」（受験者が入学試験で利用する科目）における内容の理解と科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、倫理、政治・経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力をもつ人を総合的に選抜します。

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストと個別試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価します。一般選抜では、理工学部1学科制のもと、俯瞰的視野を有して学び続ける意欲をもつ入学者を求めるとともに、入学者の主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。入学後の教養教育・専門教育に対応できる幅広い知識と理数系に対する深い思考力、さらに本学科の志望領域への関心・意欲等を明確に示すことができる人を総合的に選抜します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

<次世代光フロンティア入試>

光システムコースへの入学希望者を対象に、個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。本選抜においては、発光・受光素子、光材料、光情報、医学・光学融合分野など次世代光科学に関する研究に強い関心とそれを学ぶために必要な基礎学力をもつとともに、将来、光科学を通じて生活を豊かにすることへ意欲を有する入学者の受入を目的としています。

<理工学経験重視型入試（工業に関する学科を対象）>

個別試験で「関心・意欲・態度」と「知識・教養」を重点的に評価し、「表現力」と「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者を対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力をもつとともに、多様で創造性のある実習経験等が豊富な入学者の受入を目的としています。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）<主体性・創造性重視型>

大学入学共通テストで「思考力・判断力」と「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」と「主体性・創造性・協働性」を重点的に評価し、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」を合わせて総合的に評価します。高い主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。高等学校等段階における多様な経験をもとに柔軟に対応できる力を重視するとともに、各専門分野への強い関心を表現できる人を総合的に選抜します。

●入学選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
志望調書	一般（後期）	試験実施日当日（個別学力検査（数学）終了後）において、志望するコースへの志望理由等に関連したテーマ・内容1題を提示し、志望調書を作成（300字以内：40分）して提出する。資料の持込は認めない。アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて面接を行い、提出書類等の確認をする場合がある。また、高校の基礎学力や理解力を確認するため、口頭試問を行う場合がある（口頭試問の詳細は推薦Ⅰ・推薦Ⅱにおける推薦要件及び選抜方法等の該当ページを参照）。なお、推薦Ⅱにおいては第1次選考の結果により、面接を免除する場合がある。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰ・次世代光フロンティア入試においては「資格・検定等」を併せて評価し、推薦Ⅰ・理工学経験重視型入試においては「意欲的に取り組んだ活動」で工業に関する学科特有の活動実績を評価し、「資格・検定等」の成績を参考にする。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	志望するコースへの志望理由を300～400字程度で簡潔に作成して提出する。志望理由書は本人の自筆で記入すること。志望理由書の点数化は行わないが、参考資料として面接時の評価に用いる。

●入学選抜方法における重点評価項目（入学選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	主体性・創造性・協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ			○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期） 一般（後期）			○	○	
志望調書	一般（後期）	○				
個人面接 （口頭試問含む）	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○	○	○	○	
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
調査書	一般（前期） 一般（後期）			（総合判定の参考）		
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○				○
志望理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ			（面接の参考）		

生物資源産業学部

■生物資源産業学科

生物資源産業学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドをもった人材の育成を目的としています。そのため、生物資源産業学部では、次のような人物を求めています。

●求める人物像

- 関心・意欲・態度
バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を定めることができる人
- 探究力
興味や関心を持った科学的事象を深く掘り下げることができる人
- 表現力
自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人
- 知識・教養
本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人
- 思考力・判断力
幅広い知識と教養、多くの経験をもとに深く思考し、適切に判断できる人
- 協働性
問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 理 科—化学および基礎的な物理、生物の知識
- 数 学—「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力
- 英 語—国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力
- 国 語—様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文筆力
- 地歴・公民—地歴・公民における基礎的内容の理解

●入学者選抜の基本方針

- 一般選抜（前期日程）
大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験ではこれらに加えて「表現力」「関心・意欲・態度」を評価します。知識のみならず、学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。
- 一般選抜（後期日程）
大学入学共通テストで「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験ではこれらに加えて「探究力」「表現力」を評価します。より深い知識とともに、思考を巡らせて表現できる人を総合的に選抜します。
- 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
学校推薦型選抜Ⅰでは、地方創生に意欲をもつ入学者の受け入れを目的としており、「地域産業振興枠」と「専門学校・総合学科全国枠、地域枠」があります。いずれの枠も大学入学共通テストを課さず、個別試験のみで選抜します。個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」をあわせて総合的に評価します。
- <地域産業振興枠>
自らの住む地域に愛着を持ち、地域の生物資源を利用する産業を発展させる創造的活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、学科（普通科や専門教育を主とする学科等）の指定や地域の限定を行わず広く募集します。
- <専門学校・総合学科全国枠、地域枠>
地域の1次産業や6次産業の担い手としての活動をめざす入学者の受け入れを目的としています。本枠は、(各地域の産業界と結びつきの強い専門教育を受けた) 専門学校・総合学科を対象とし、「全国枠」および「地域枠」により募集します。
- 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）<主体性・表現力重視型>
3教科の大学入学共通テストでより深い「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「探究力」「協働性」を合わせて評価します。高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それを表現できる人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選 抜 内 容
総合問題	一般（後期）	日本語で書かれた文章や図表等により、下記の力を問う記述・論述式の出題を行う。 ①化学（化基・化）に関する基礎学力と思考・判断力（実験データの解析力等を問う場合あり） ②現代の社会における諸問題（バイオテクノロジー、食料、農業等を抱える問題）や生物資源産業への深い関心と、自らの考えを表現する力 ※②は小論文の要素を含めた出題
小論文	推薦Ⅰ	日本語で書かれた文章や図表等により、「思考力・判断力」「表現力」を問う論述式の出題を行う。
集団面接	一般（前期）	複数の面接担当者による集団面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて集団面接を行う。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	複数の面接担当者による個人面接を行う。アドミッション・ポリシーに基づいて個人面接を行い、提出書類等の確認を行う場合がある。なお、推薦Ⅰにおいては、高校の基礎学力（「化学基礎・化学」）を確認するため、口頭試問を行う。また、推薦Ⅰ・地方創生型（地域産業振興枠）では、「学びの設計書」に関する内容についてプレゼンテーションを行う。
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	中学校卒業後の「意欲的に取り組んだ活動（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）」を評価する。また、推薦Ⅰでは、「資格・検定等」を合わせて評価する。なお、推薦Ⅰ・地方創生型（専門学校・総合学科全国枠、地域枠）においては、「意欲的に取り組んだ活動」で農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科特有の活動実績を評価する。 ※作成方法については、「『活動報告書』作成要領」を必ず確認すること。
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	大学・社会人までを繋ぐ設計書を作成する。自分がこれから学びたい分野の理由を含めて、300字～400字で簡潔に作成して提出する。学びの設計書は必ず受験者自筆で作成する。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	【一般（前期）（後期）】 総合判定の参考とする。 【推薦Ⅰ・推薦Ⅱ】 アドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
推薦書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習や活動等の状況も踏まえ、総合して判定する。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像との関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	探究力	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ				○	○	
個別学力検査 <教科>	一般（前期）			○	○	○	
総合問題	一般（後期）		○	○	○	○	
小論文	推薦Ⅰ			○		○	
集団面接	一般（前期）	○		○			
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○ ○		○ ○	○		
活動報告書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	○	○		○		○
学びの設計書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ		○	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅰ 推薦Ⅱ				（総合判定の参考）		
		○					○

帰国生徒選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」ならびに日本語の能力を評価、また、英語能力試験の成績で英語の能力を評価します。面接では入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【歯学部歯学科】

基礎学力テストで入学後の学習に必要な「思考力・判断力」「知識・教養」を備えているか評価します。また、小論文と個人面接で「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「思考力・判断力」「協働性」を合わせて評価します。みずからの海外経験に基づいた斬新な発想や思考と、それを深く表現できる力を重視し、協働性に富む人を総合的に評価し選抜します。

【理工学部】

小論文で「関心・意欲」「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を評価し、面接では左記の外「態度」「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

社会人選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を、評価します。面接では出願書類及び英語能力試験の成績を参考にしながら入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

個別試験（学力検査（英語）・小論文）で「基礎学力」「語学力」「理解力・表現力」「思考力・判断力」「幅広い視野」を評価します。これに加えて面接で「関心・意欲・態度」「協働性」「理解力・表現力」を評価します。経験を活かし、健康の維持・増進、生活の質を高めるにふさわしい確かな資質を有する人を総合的に選抜します。

【理工学部】

出願書類で「関心・意欲」と「知識・教養」を評価し、面接では左記の外「態度」「表現力」「主体性・創造性・協働性」を加えて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

私費外国人留学生選抜

●入学者選抜の基本方針

【総合科学部】

英語能力試験、独立行政法人日本学生支援機構の実施する日本留学試験によって、英語及び日本語のすぐれた能力ならびに「知識・教養」を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を評価します。面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」に加えて、入学後に期待される学究的指向性を「関心・意欲・態度」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

【医学部医学科】

個別学力検査で「知識・教養」「思考力・判断力」とあわせて「関心・意欲・態度」「表現力」「主体性」を評価します。日本で学ぶ意欲が高く、医学や生命科学に強い関心を持つ人材を総合的に選抜します。

【医学部保健学科看護学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、これに加えてTOEFLの成績を利用し「語学力」を評価します。さらに、小論文および面接では「関心・意欲・態度」「理解力・表現力」「幅広い視野」も評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、主体的に判断・行動する資質（確かな学力）をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科放射線技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験でこれらに加えて「関心・意欲・態度」「応用力」「協働性」「幅広い視野」を評価します。自然科学を理解する基礎学力に優れ、論理的に判断・行動する資質をもつ人を総合的に選抜します。

【医学部保健学科検査技術科学専攻】

日本留学試験で「日本語の語学力」、「思考力・判断力」、「知識・教養」を評価します。これに加えて個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個人面接で「探求力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。学ぶ意欲や自分で課題を発見し、自主的に判断・行動できる確かな資質をもつ人を選抜します。

【歯学部歯学科】

日本留学試験、TOEFL および個別学力検査で入学後の学習に必要な「思考力・判断力」「知識・教養」を備えているかを評価します。また、面接で「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「協働性」を合わせて評価します。日本文化に強い関心を持つと同時にグローバルな視点からの発想力を備え、それを日本人学生と共有して課題を発見し、協働して解決できる人を総合的に評価し選抜します。

【薬学部】

日本留学試験等の成績で「思考力・判断力」「知識・教養」を評価します。個別試験では、これらに加え「関心・意欲・態度」「表現力」「協働性」を評価します。

【理工学部】

小論文で「関心・意欲」「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を評価し、面接では左記の外「態度」「主体性・創造性・協働性」を合わせて総合的に評価します。主体性と専門性を重視するため、志望コース毎に募集を行います。

【生物資源産業学部】

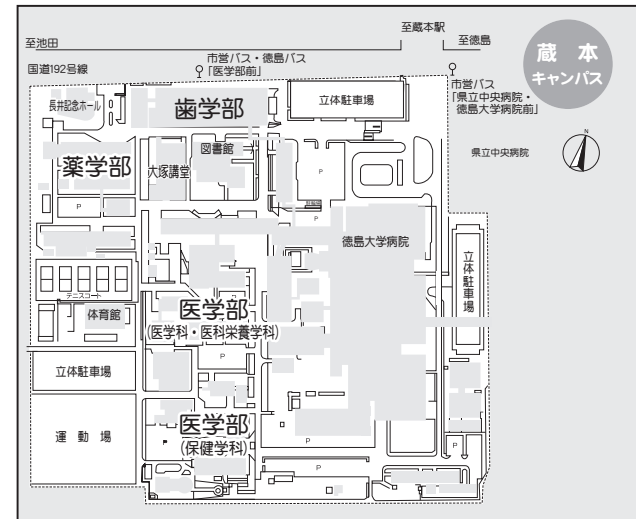
TOEFL 及び日本留学試験によって、英語及び日本語の能力ならびに「知識・教養」を考查します。小論文では「知識・教養」「表現力」「思考力・判断力」を、面接では日本語の能力と「表現力」「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」を総合的に評価し選抜します。

注1) 各学部・学科（専攻）の「求める人物像」はP75～97を確認してください。なお、「知識・教養」で示す「高等学校等で修得すべき具体的な内容」については参考としてください。

位置図



キャンパスマップ



交通アクセス

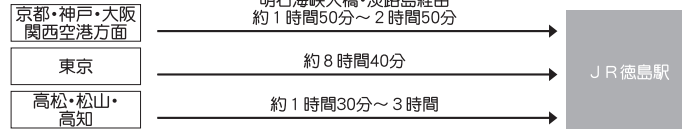
■航空機利用の場合



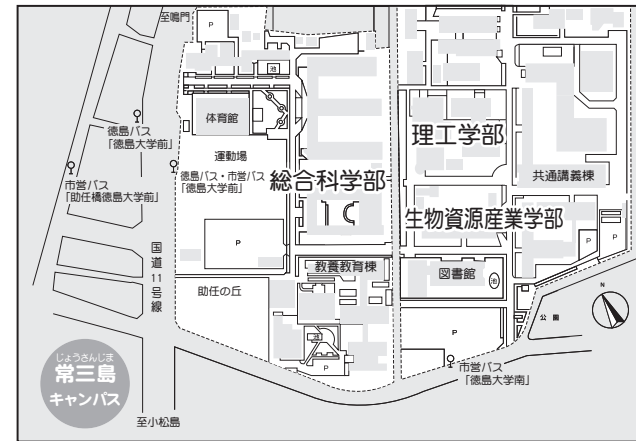
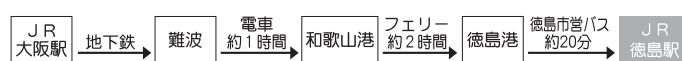
■鉄道利用の場合



■バス利用の場合



■フェリーポート利用の場合



徳島駅から各キャンパスへのアクセス

